

第2章 本町のこども・若者と家庭を取り巻く環境

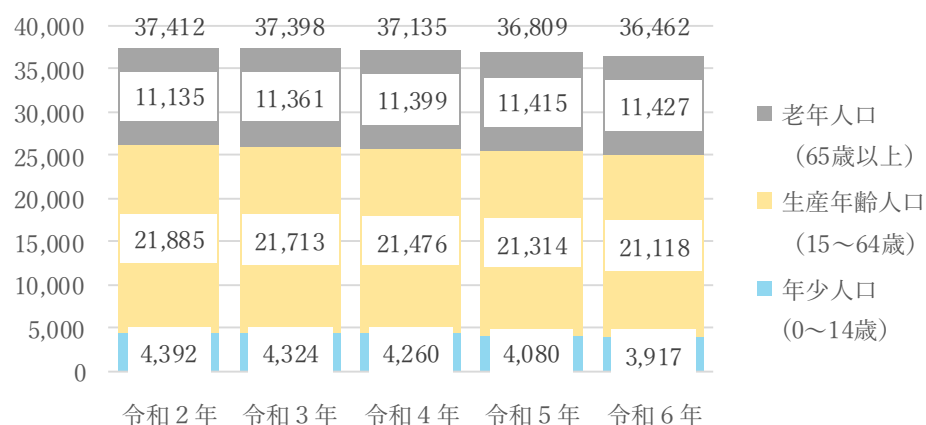
1. 統計からみる現状

(1) 人口推移

本町の総人口は、減少傾向で推移しており、令和6年には36,462人と、令和2年の37,412人より950人減少しています。

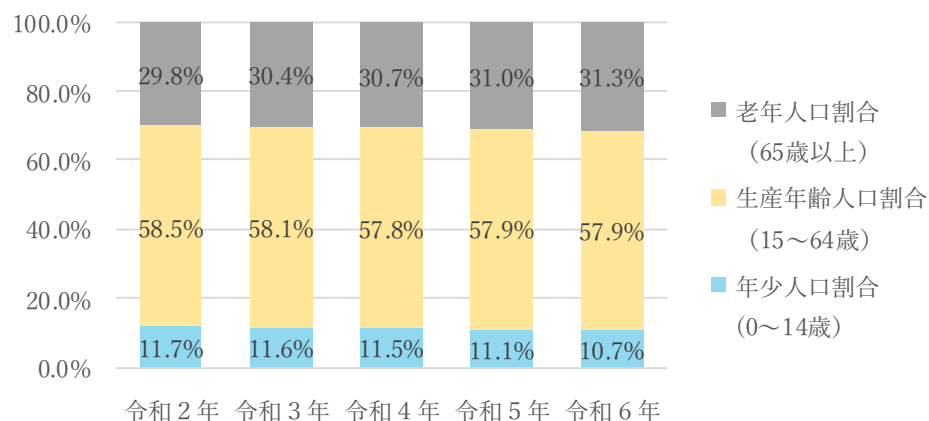
年齢3区分別人口は、年少人口と生産年齢人口は減少傾向で推移しておりますが、老年人口は増加傾向となっています。

□総人口・年齢3区分別人口の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末現在）

□総人口・年齢3区分別人口割合の推移

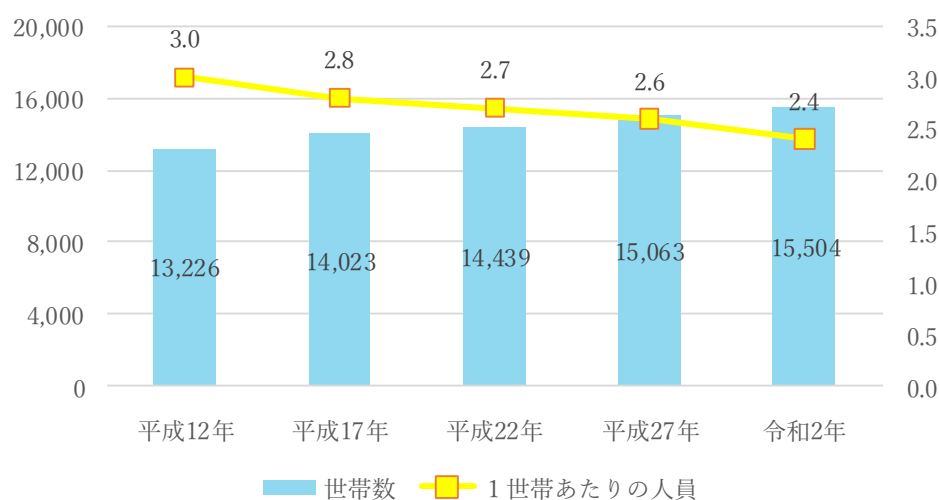


資料：住民基本台帳（各年3月末現在）

(2) 世帯数・世帯人員の推移

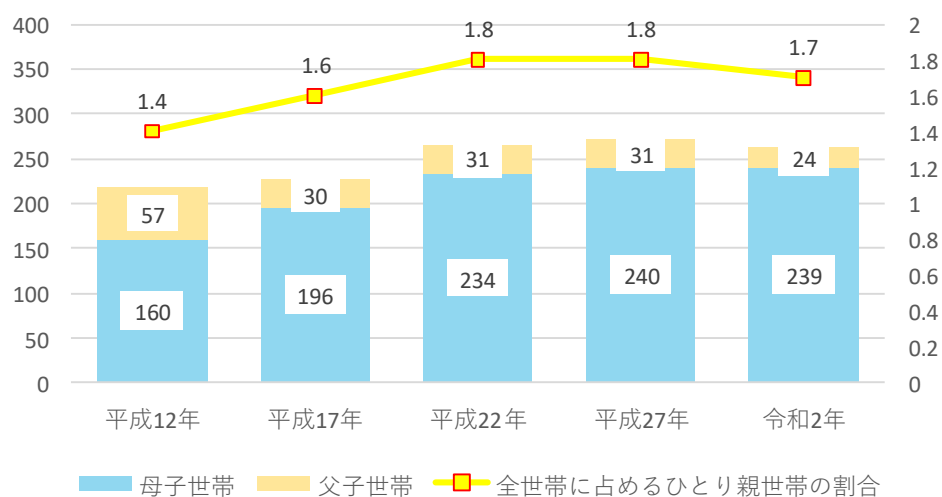
世帯数は、増加傾向にあり、令和2年度の一般世帯数は、15,504世帯となっておりますが、一世帯当たり人員数は減少傾向にあり、核家族化、単身世帯の増加などにより世帯規模の縮小が伺えます。

□世帯数・世帯人員の推移



資料：国勢調査

□全世帯に占めるひとり親世帯の割合の推移

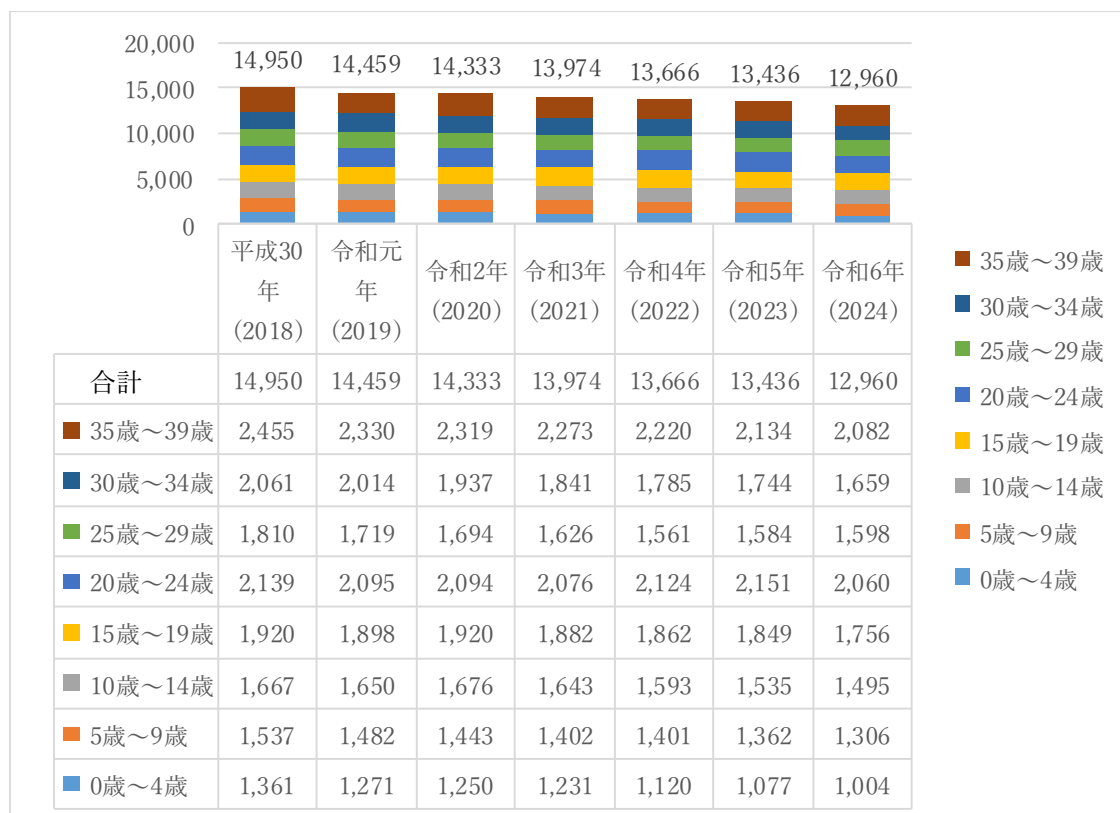


資料：国勢調査

(3) こども・若者の人口の推移

本町のこども・若者の人口は、減少傾向にあります

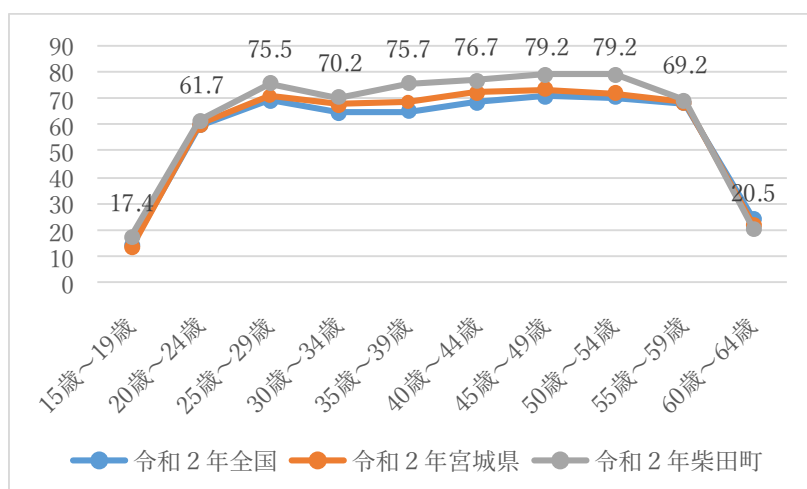
□ 0歳～39歳の人口推移



(4) 女性の労働状況の推移

本町の女性の就業率は、国や県よりも高く、20歳から54歳にかけて70%を超えています。また、30歳～34歳でやや落ち込み、「M字カーブ」がみられます。

□ 女性の年齢別就業率



資料：国勢調査

(5) 出生数の推移

本町の出生率（合計特殊出生率）の直近の平成30年～令和4年の値は、1.22と全国より低く、長期的に人口を維持できる水準（人口置換水準）の2.07を下回っています。

この数値は、親となる世代の人口規模の縮小や若者の結婚・出産に対する意識の変化が大きく関わっており、少子化の要因の一つとみられます。

□合計特殊出生率

区分	平成5年～ 平成9年	平成10年～ 平成14年	平成15年～ 平成19年	平成20年～ 平成24年	平成25年～ 平成29年	平成30年～ 令和4年
柴田町	1.5	1.38	1.3	1.35	1.33	1.22
宮城県	1.46	1.37	1.28	1.29	1.35	1.19
全国	1.44	1.35	1.3	1.39	1.43	1.33

※合計特殊出生率：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、一人の女性が生涯、何人の子どもを出産するかを推計したものです。

資料：柴田町人口ビジョン

2. こども・若者施策に関する調査概要

(1) 調査の概要

本調査は、本計画の策定にあたり、高校生世代から39歳のみなさんのご意見等をお聞きし、こども・若者施策に反映することを目的として実施しました。

項 目	内 容
調査対象者	高校生世代から39歳（昭和61年4月2日生から平成20年4月1日生まで）
調査期間	令和7年6月30日（月）から7月14日（月）
調査方法	WEB回答による本人回答方式
調査人数	1,000人（無作為抽出）
有効回収数	208件（回答率20.8%）

◇アンケート結果の見方

調査結果の数値については、小数点第2位以下で四捨五入しているため、内訳を合計しても100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

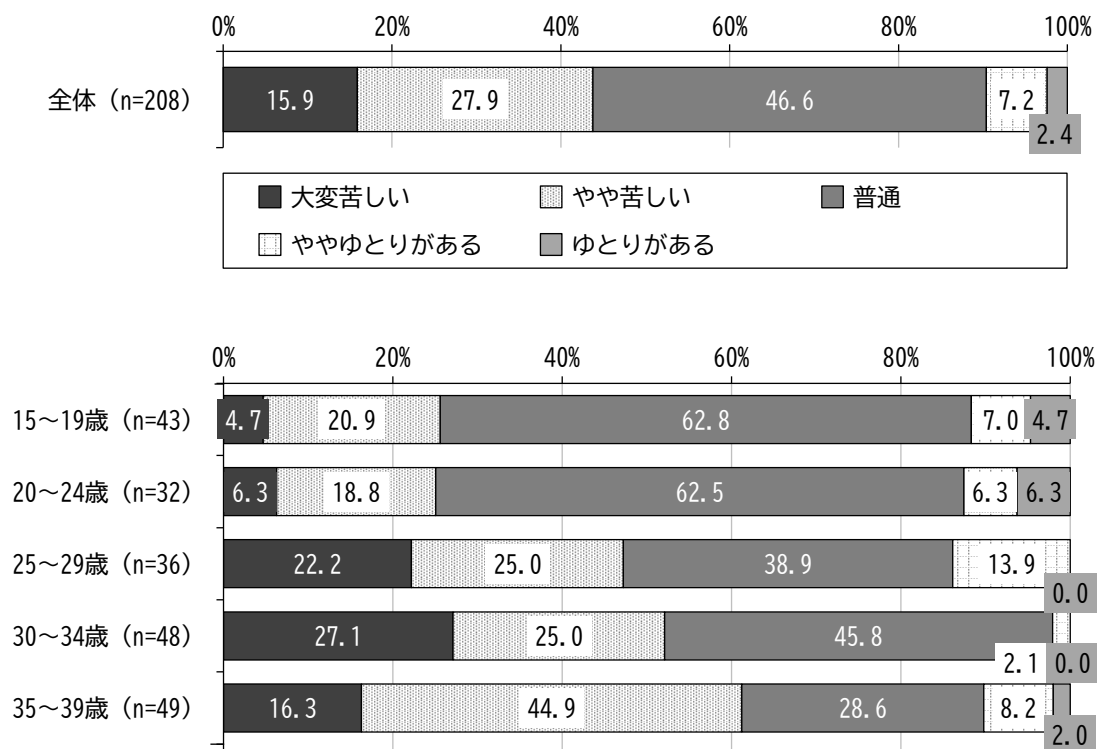
図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

(2) 調査結果の抜粋

① 現在のあなたの暮らしの状況について、どのように感じていますか。(単数回答)

現在の暮らしの状況についてみると、「普通」が46.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」が27.9%、「大変苦しい」が15.9%となっています。

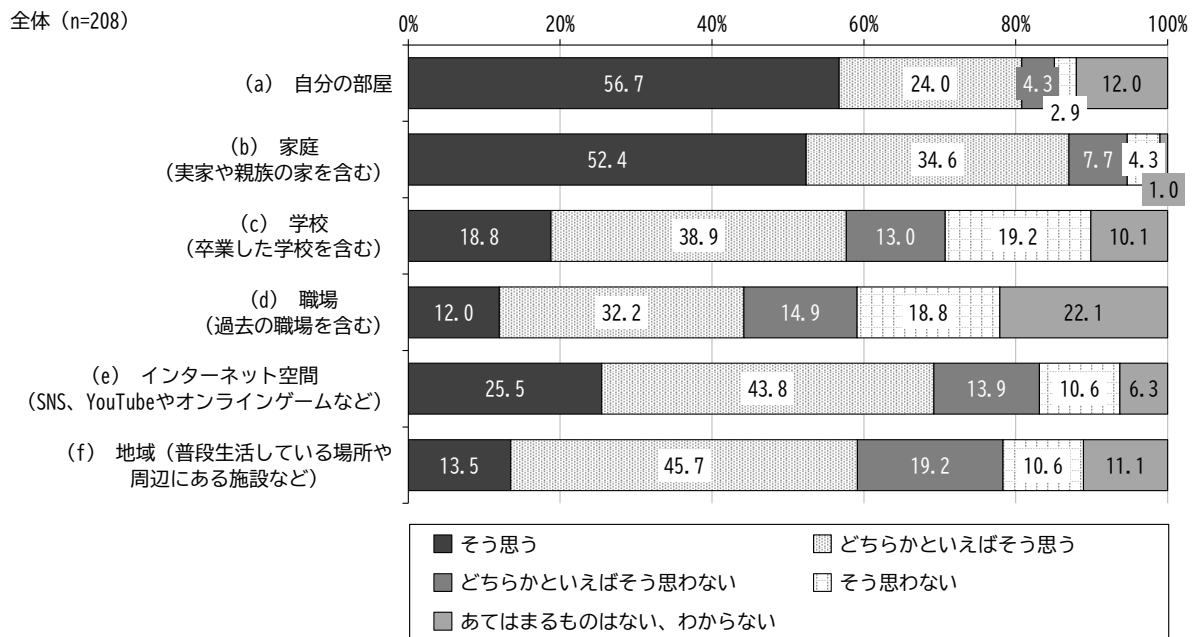
年齢別にみると、35～39歳では「やや苦しい」、その他の年齢では「普通」が最も高くなっています。



② 次の場所は、今のあなたにとって、ほっとできる居場所や居心地の良い居場所になっていますか。(それぞれ単数回答)

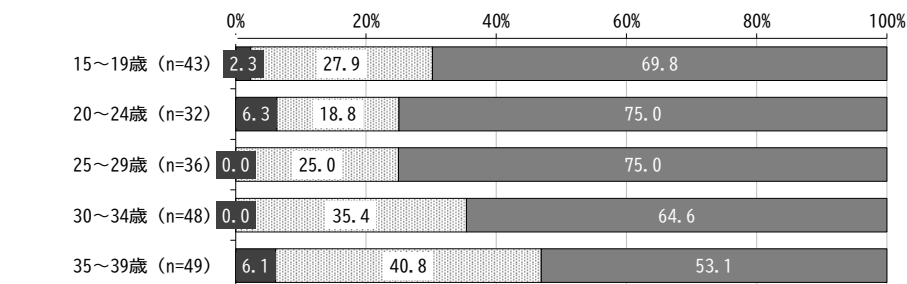
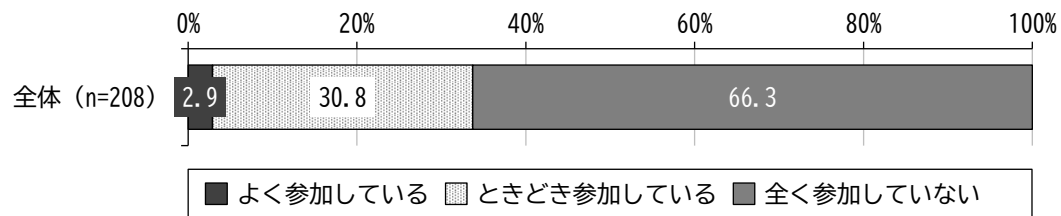
「そう思う」の割合についてみると、[(a) 自分の部屋]が56.7%と最も高く、次いで[(b) 家庭(実家や親族の家を含む)]が52.4%、[(e) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)]が25.5%となっています。

「そう思わない」の割合についてみると、[(c) 学校(卒業した学校を含む)]が19.2%と最も高く、次いで[(d) 職場(過去の職場を含む)]が18.8%、[(e) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)][(f) 地域(普段生活している場所や周辺にある施設など)]が10.6%となっています。



③ あなたは、現在、地域の行事などにどの程度参加していますか。(単数回答)

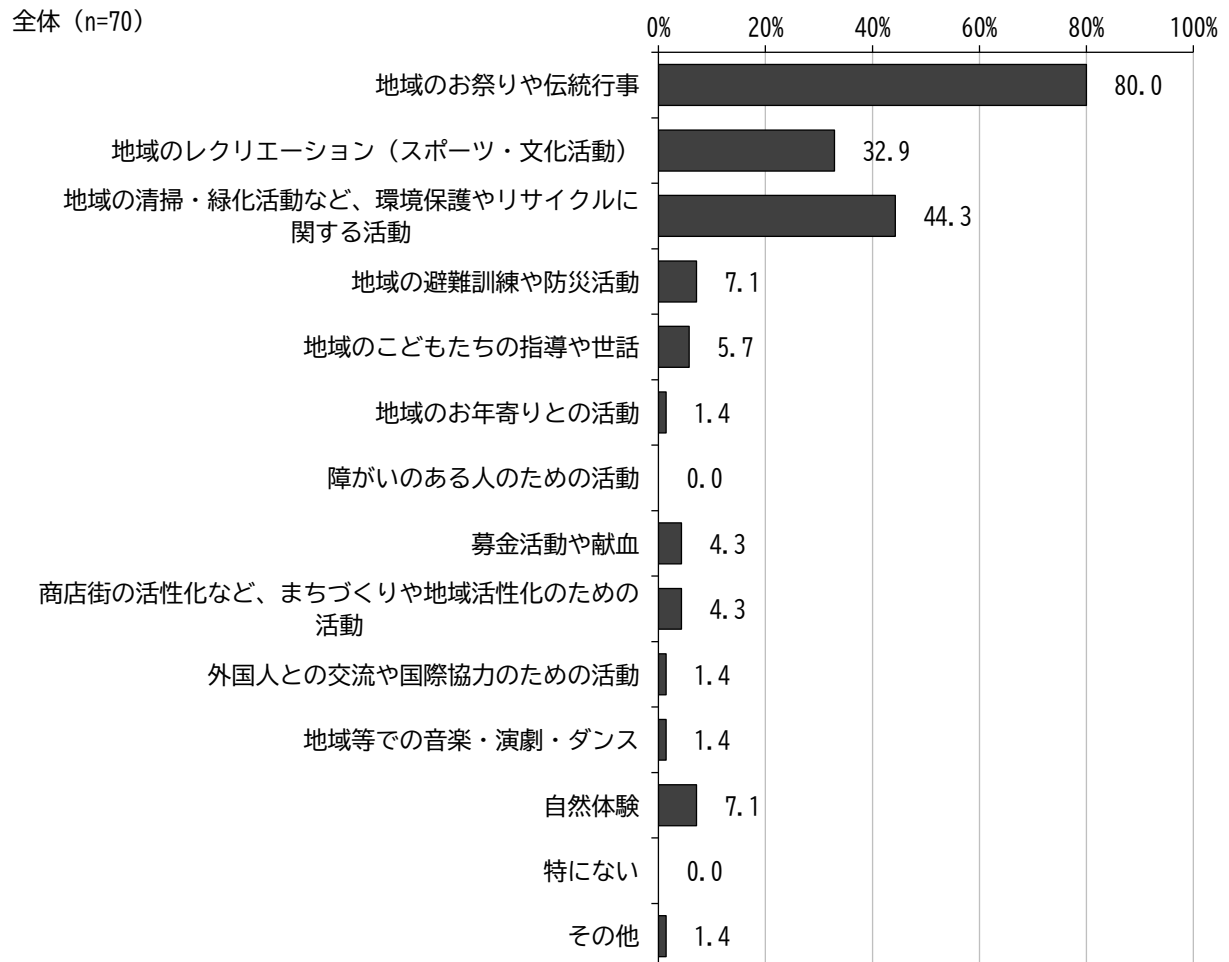
地域の行事などに参加しているかについてみると、「全く参加していない」が66.3%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が30.8%、「よく参加している」が2.9%となっています。



③で「よく参加している」または「ときどき参加している」を選んだ方

③-1 あなたが参加したことがある地域の行事は何ですか。(複数回答)

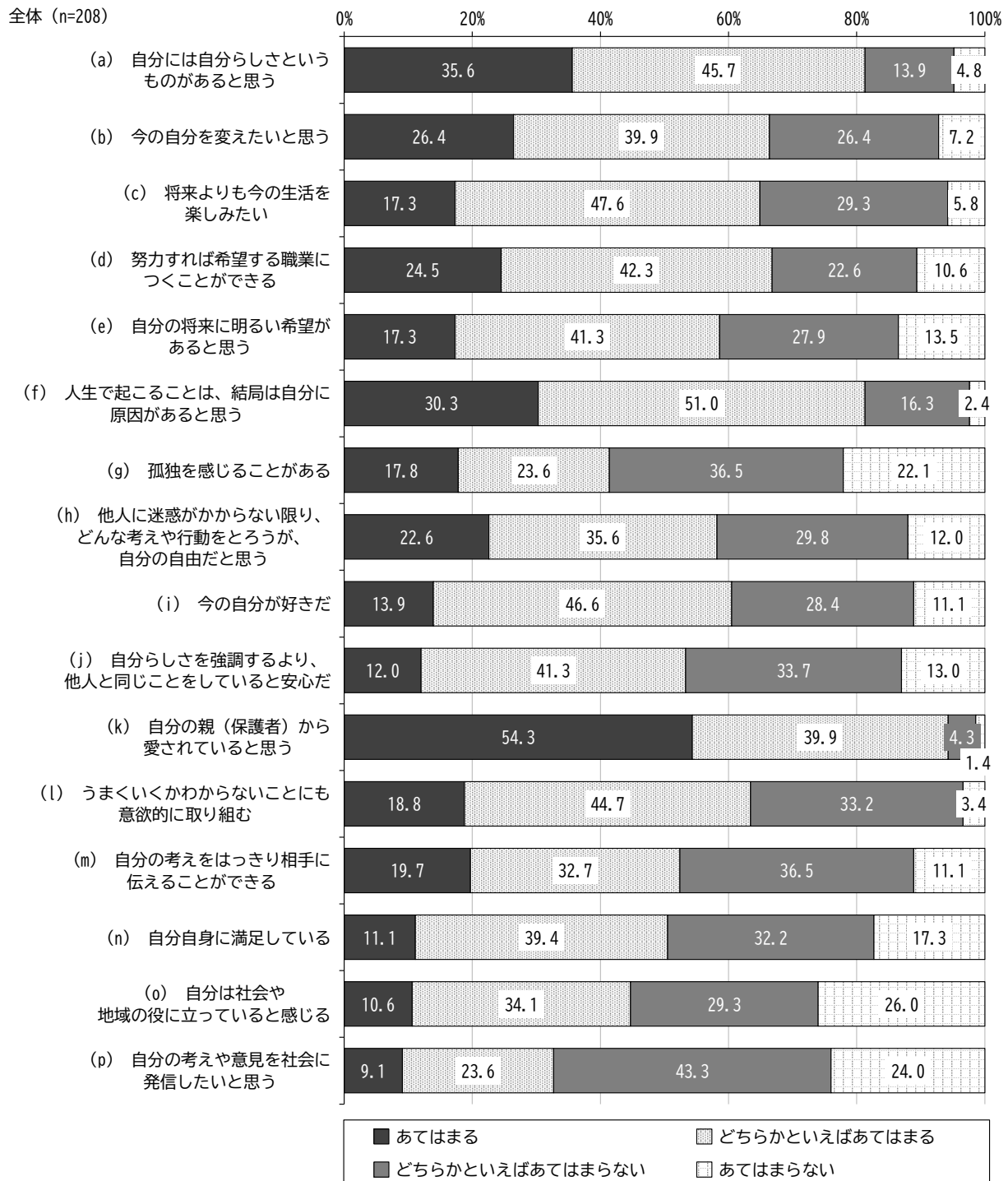
参加したことがある地域の行事についてみると、「地域のお祭りや伝統行事」が80.0%と最も高く、次いで「地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動」が44.3%、「地域のレクリエーション（スポーツ・文化活動）」が32.9%となっています。



④ あなた自身の意識や考え方について、次のことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ単数回答)

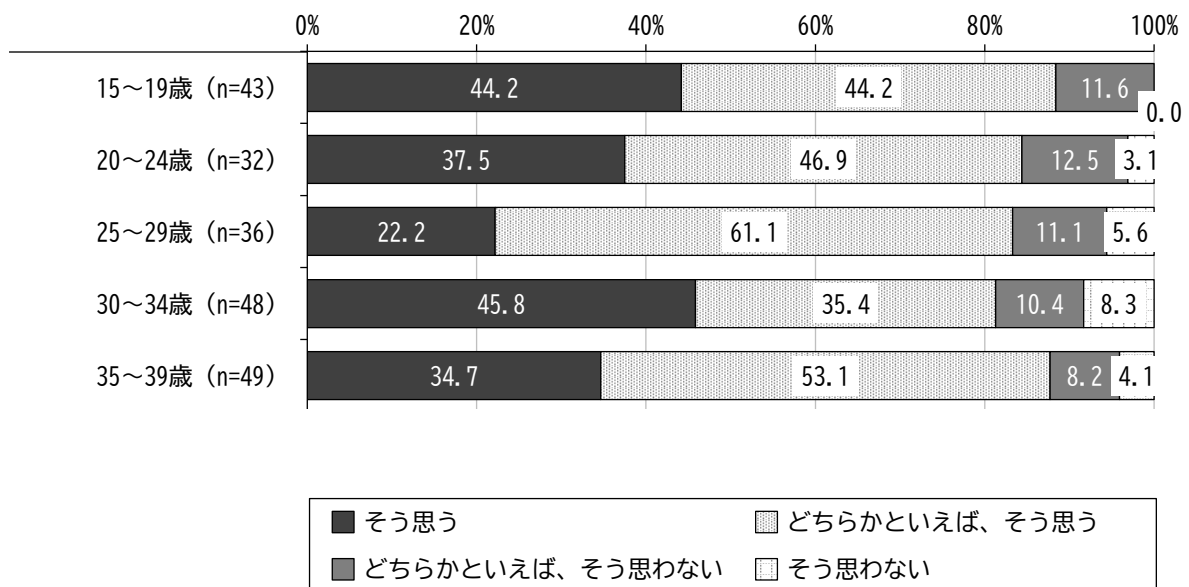
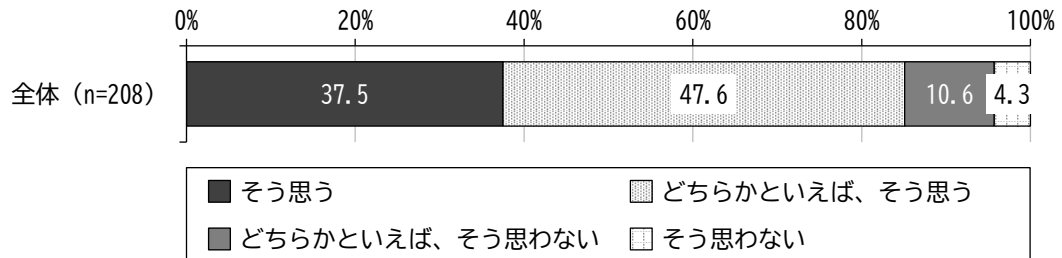
「あてはまる」の割合についてみると、[(k) 自分の親(保護者)から愛されていると思う]が54.3%と最も高く、次いで[(a) 自分には自分らしさというものがあると思う]が35.6%、[(f) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う]が30.3%となっています。

「あてはまらない」の割合についてみると、[(o) 自分は社会や地域の役に立っていると感じる]が26.0%と最も高く、次いで[(p) 自分の考えや意見を社会に発信したいと思う]が24.0%、[(g) 孤独を感じることもある]が22.1%となっています。



⑤ あなたは、現在、幸せだと思いますか。(単数回答)

幸せだと思うかについてみると、「どちらかといえば、そう思う」が47.6%と最も高く、次いで「そう思う」が37.5%、「どちらかといえば、そう思わない」が10.6%となっています。
年齢別にみると、15～19歳では「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」、30～34歳では「そう思う」、その他の年齢では「どちらかといえば、そう思う」が最も高くなっています。

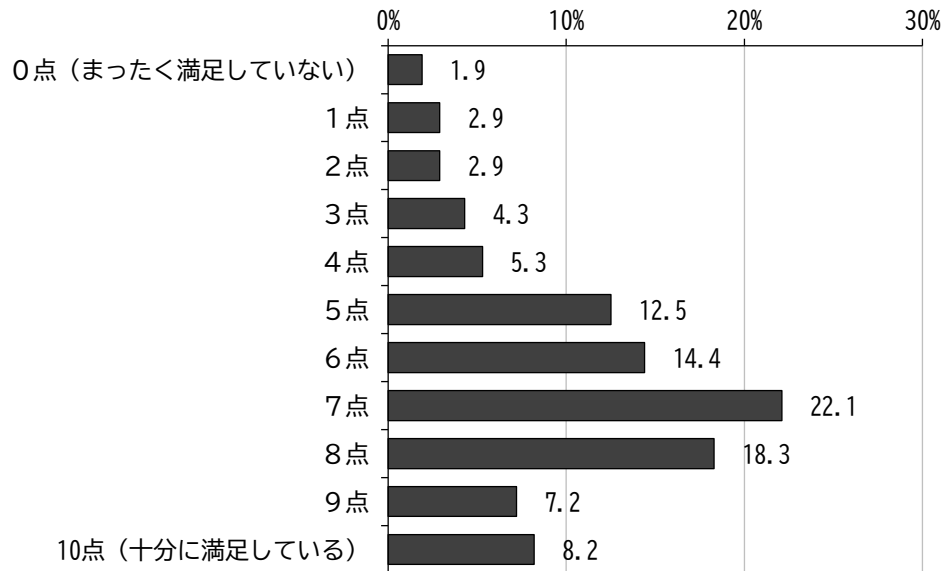


⑥ あなたは、今の自分の生活に満足していますか。(単数回答)

今の生活の満足度についてみると、「7点」が22.1%と最も高く、次いで「8点」が18.3%、「6点」が14.4%となっています。

年齢別にみると、15～19歳、25～29歳では「8点」、その他の年齢では「7点」が最も高くなっています。

全体 (n=208)

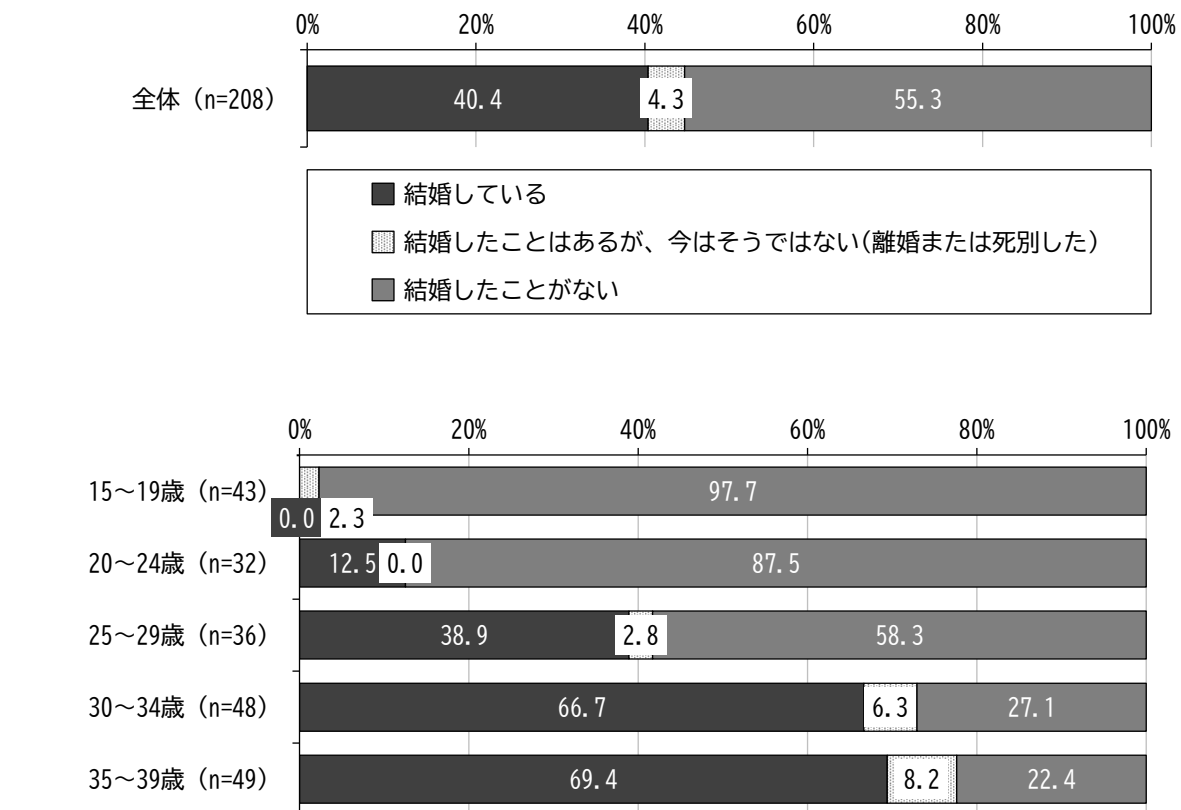


		n	足0 して い ない (ま った く 満 足 し て い ない)	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	足1 0 点 (十 分 に 満 足 し て い る)
	%												
全体		208	1.9	2.9	2.9	4.3	5.3	12.5	14.4	22.1	18.3	7.2	8.2
年 齢 別	15～19歳	43	-	-	-	2.3	2.3	20.9	9.3	18.6	23.3	11.6	11.6
	20～24歳	32	3.1	-	3.1	3.1	9.4	6.3	15.6	18.8	15.6	9.4	15.6
	25～29歳	36	-	5.6	2.8	5.6	11.1	16.7	11.1	16.7	19.4	5.6	5.6
	30～34歳	48	2.1	4.2	6.3	6.3	2.1	8.3	12.5	29.2	16.7	8.3	4.2
	35～39歳	49	4.1	4.1	2.0	4.1	4.1	10.2	22.4	24.5	16.3	2.0	6.1

⑦ あなたは結婚していますか。現在の状況をお答えください。(単数回答)

現在、結婚しているかについてみると、「結婚したことがない」が55.3%と最も高く、次いで「結婚している」が40.4%、「結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)」が4.3%となっています。

年齢別にみると、30～34歳、35～39歳では「結婚している」、その他の年齢では「結婚したことがない」が最も高くなっています。

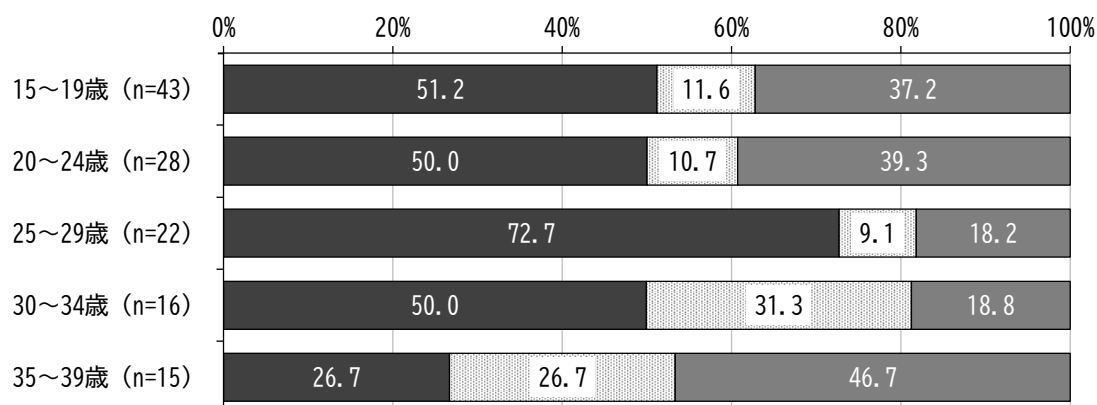
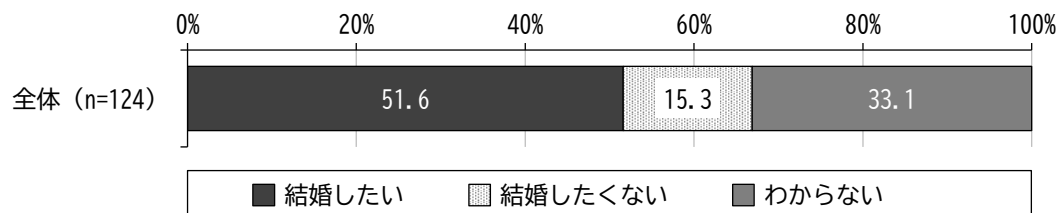


⑦で「結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)」「結婚したことがない」を選んだ方

⑦-1 あなたは、今後結婚したいと思いますか。(単数回答)

今後結婚したいと思うかについてみると、「結婚したい」が51.6%と最も高く、次いで「わからない」が33.1%、「結婚したくない」が15.3%となっています。

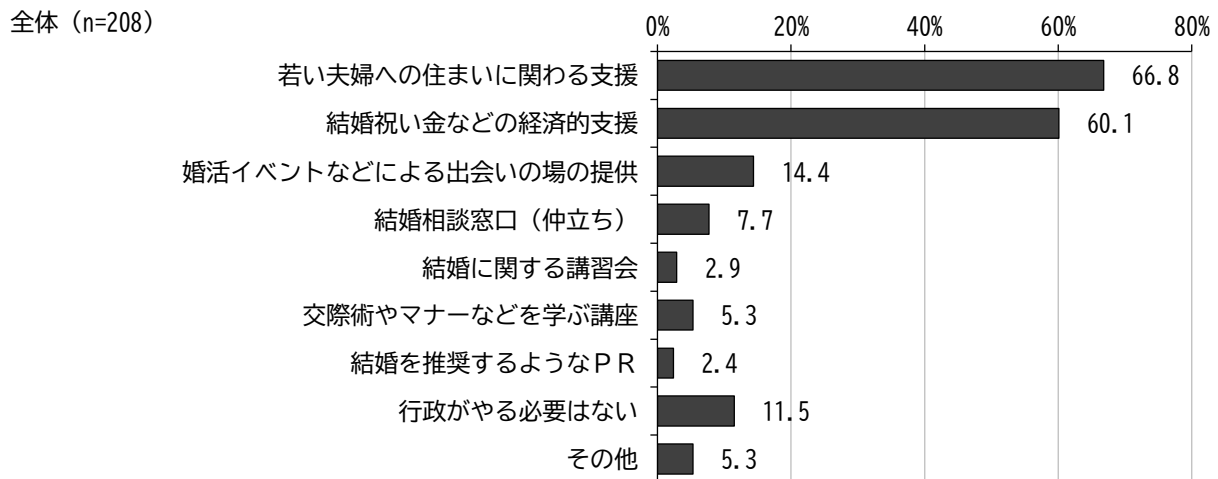
年齢別にみると、35～39歳では「わからない」、その他の年齢では「結婚したい」が最も高くなっています。



⑧ 今後、結婚支援として、町に最も力を入れてほしい取り組みは何だと思いますか。（複数回答）

結婚支援として、町に最も力を入れてほしい取り組みについてみると、「若い夫婦への住まいに関わる支援」が66.8%と最も高く、次いで「結婚祝い金などの経済的支援」が60.1%、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」が14.4%となっています。

年齢別にみると、20～24歳、30～34歳では「結婚祝い金などの経済的支援」、その他の年齢では「若い夫婦への住まいに関わる支援」が最も高くなっています。

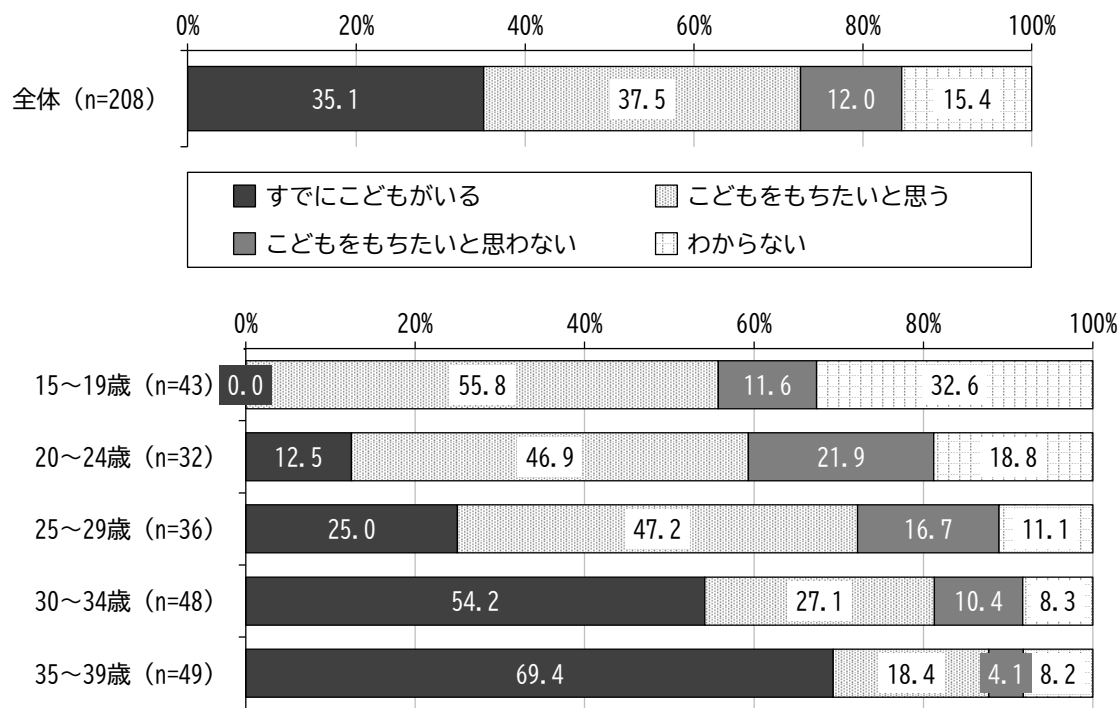


	n	若い夫婦への住まいに関わる支援	経済的支援（結婚祝い金など）	出会いの場の提供（婚活イベントなど）	結婚相談窓口（仲立ち）	結婚に関する講習会	交際術やマナーなどを学ぶ講座	結婚を推奨するようなPR	行政がやる必要はない	その他
全体	208	66.8	60.1	14.4	7.7	2.9	5.3	2.4	11.5	5.3
年齢別										
15～19歳	43	65.1	53.5	9.3	9.3	4.7	14.0	4.7	11.6	2.3
20～24歳	32	75.0	78.1	12.5	9.4	9.4	-	-	9.4	3.1
25～29歳	36	77.8	63.9	16.7	5.6	-	2.8	-	5.6	8.3
30～34歳	48	60.4	66.7	12.5	8.3	-	4.2	6.3	10.4	6.3
35～39歳	49	61.2	44.9	20.4	6.1	2.0	4.1	-	18.4	6.1

⑨ あなた自身が子どもをもつことについて、あなたはどのように思いますか。(単数回答)

子どもをもつことについてみると、「子どもをもちたいと思う」が37.5%と最も高く、次いで「すでに子どもがいる」が35.1%、「わからない」が15.4%となっています。

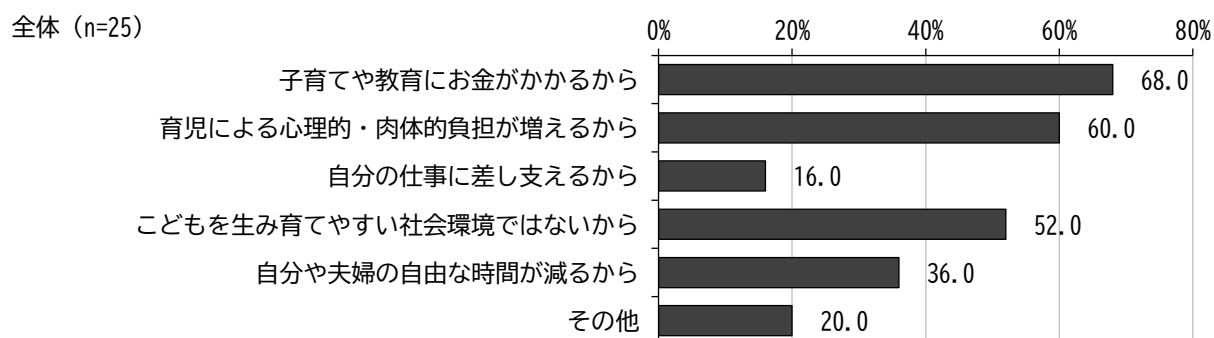
年齢別にみると、30～34歳、35～39歳では「すでに子どもがいる」、その他の年齢では「子どもをもちたいと思う」が最も高くなっています。



⑨で「子どもをもちたいと思わない」を選んだ方

⑨-1 その理由を教えてください。(複数回答)

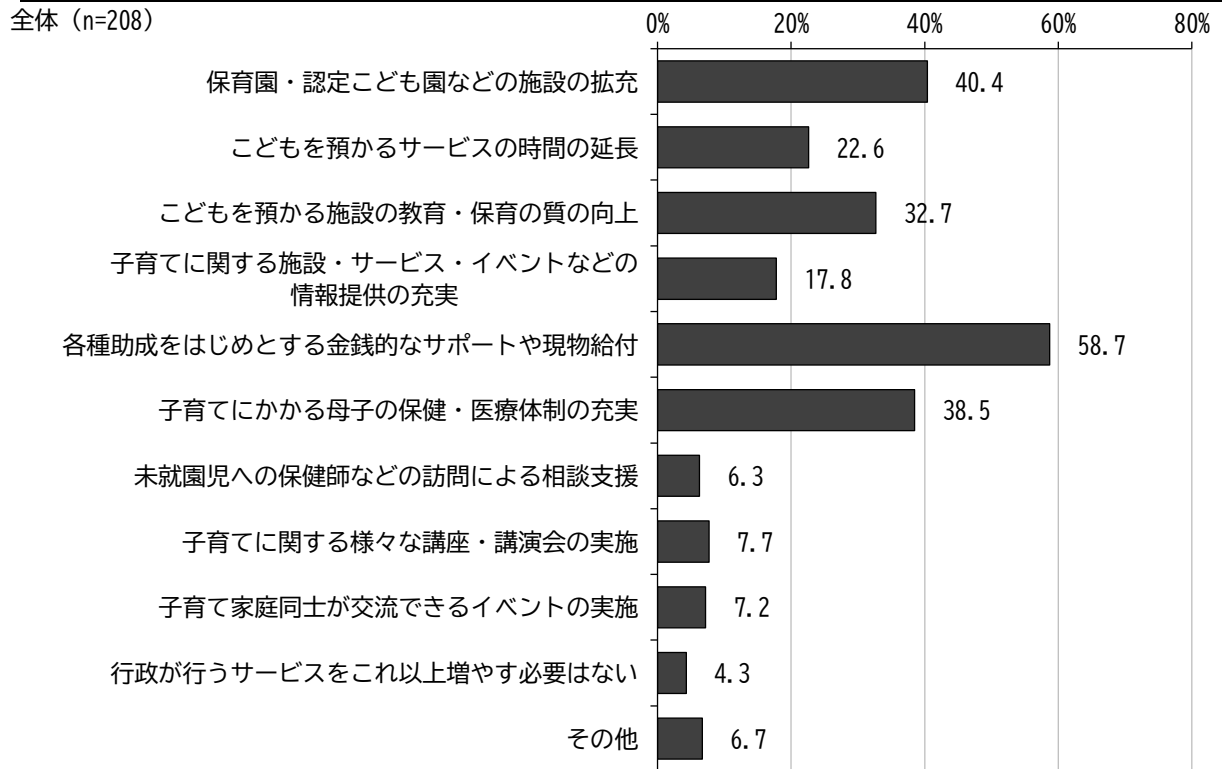
子どもをもちたいと思わない理由についてみると、「子育てや教育にお金がかかるから」が68.0%と最も高く、次いで「育児による心理的・肉体的負担が増えるから」が60.0%、「子どもを生み育てやすい社会環境ではないから」が52.0%となっています。



⑩ 今後、育児に関するサービスとして、町に最も力を入れてほしい取り組みは何だと思いますか。(複数回答)

育児に関するサービスとして、町に最も力を入れてほしい取り組みについてみると、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が58.7%と最も高く、次いで「保育園・認定こども園などの施設の拡充」が40.4%、「子育てにかかる母子の保健・医療体制の充実」が38.5%となっています。

年齢別にみると、15～19歳では「子育てにかかる母子の保健・医療体制の充実」、その他の年齢では「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が最も高くなっています。

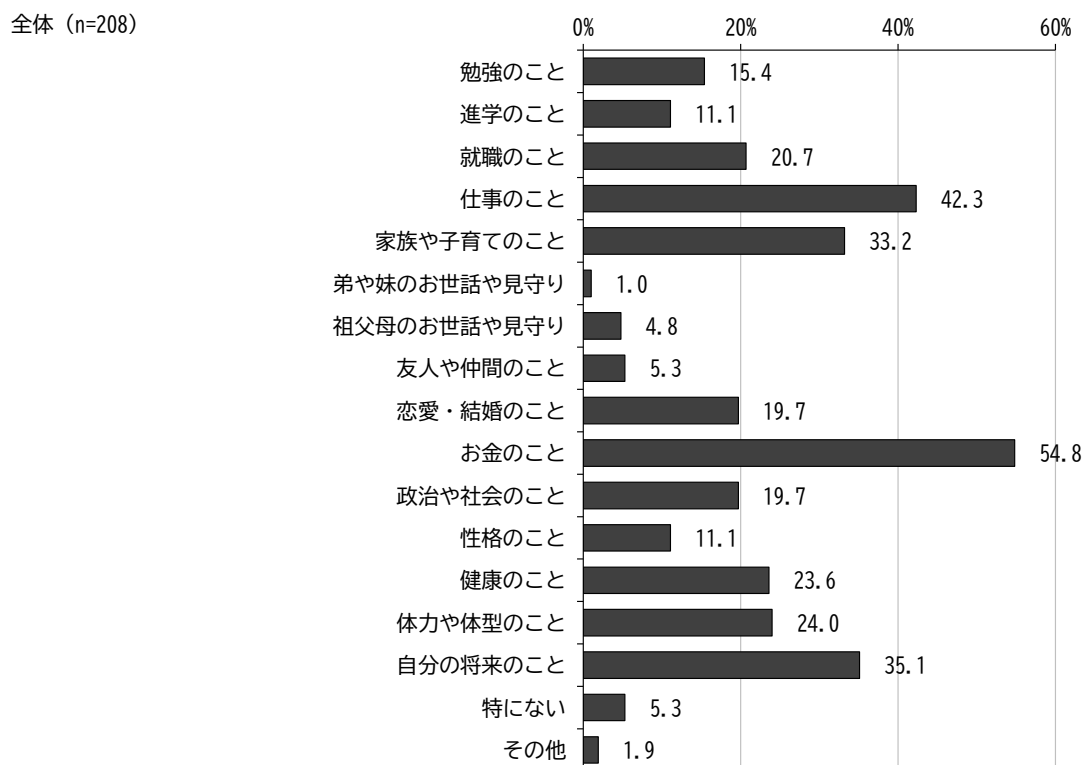


		%	n	保育園・認定こども園などの施設の拡充	こどもの時間を預かるサービスの延長	こどもを預かる施設の向上	子育てに関する施設・サービスの充実	各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付	子育て・医療体制の充実	未就園児への保健師などの訪問による相談支援	子育てに関する様々な講座・講演会の実施	子育て家庭同士が交流できるイベントの実施	行政が行うサービスを増やす必要はない	その他
全体			208	40.4	22.6	32.7	17.8	58.7	38.5	6.3	7.7	7.2	4.3	6.7
年齢別	15～19歳	43	41.9	18.6	32.6	18.6	39.5	44.2	4.7	9.3	7.0	4.7	4.7	
	20～24歳	32	53.1	9.4	31.3	6.3	68.8	40.6	6.3	21.9	9.4	3.1	6.3	
	25～29歳	36	47.2	25.0	33.3	19.4	63.9	41.7	8.3	5.6	5.6	-	8.3	
	30～34歳	48	31.3	25.0	43.8	20.8	70.8	39.6	4.2	6.3	6.3	4.2	4.2	
	35～39歳	49	34.7	30.6	22.4	20.4	53.1	28.6	8.2	-	8.2	8.2	10.2	

⑪ あなたは、現在どのような悩み事や心配事がありますか。(複数回答)

悩み事や心配事についてみると、「お金のこと」が54.8%と最も高く、次いで「仕事のこと」が42.3%、「自分の将来のこと」が35.1%となっています。

年齢別にみると、15～19歳では「勉強のこと」、20～24歳では「仕事のこと」、その他の年齢では「お金のこと」が最も高くなっています。



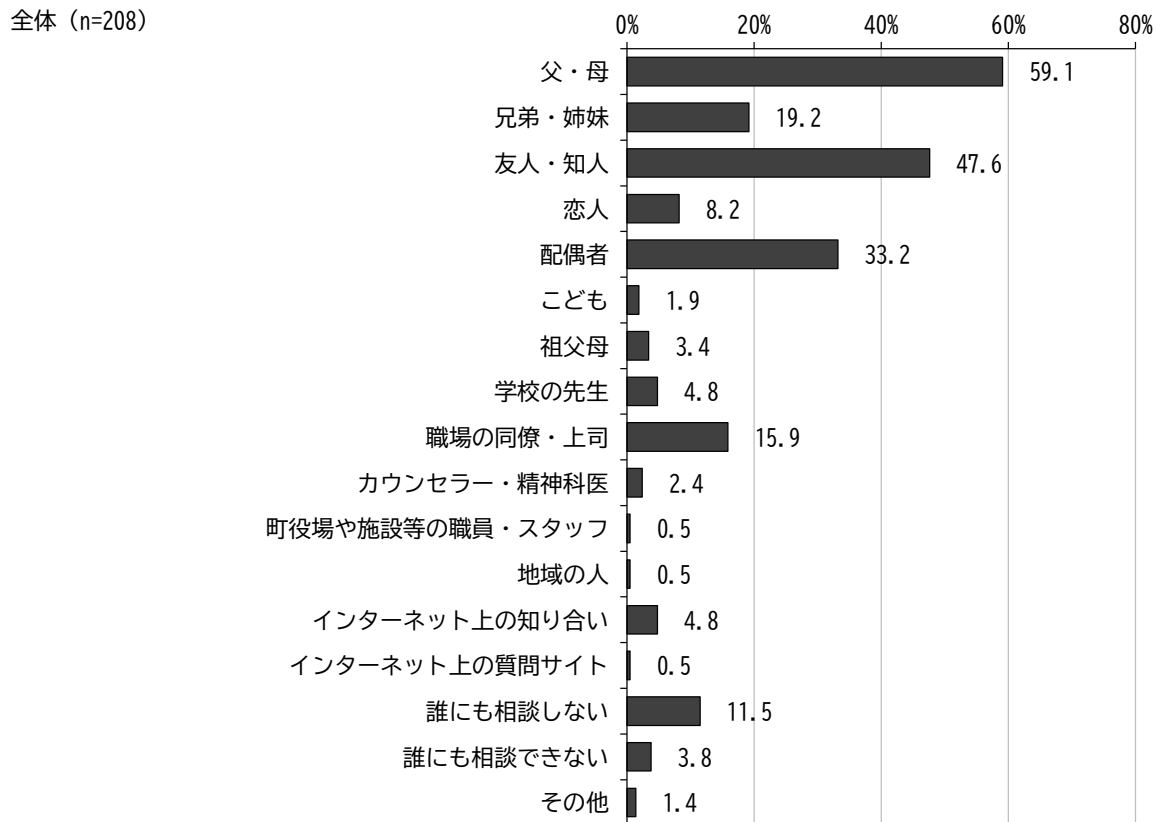
		n	勉強のこと	進学のこと	就職のこと	仕事のこと	家族や子育てのこと	守り弟や妹のお世話や見	守り祖父母のお世話や見	友人や仲間のこと	恋愛・結婚のこと
	%										
全体		208	15.4	11.1	20.7	42.3	33.2	1.0	4.8	5.3	19.7
年齢別	15～19歳	43	55.8	46.5	41.9	14.0	4.7	-	-	18.6	18.6
	20～24歳	32	15.6	3.1	37.5	56.3	15.6	-	3.1	9.4	28.1
	25～29歳	36	5.6	-	19.4	47.2	30.6	5.6	5.6	-	30.6
	30～34歳	48	-	-	10.4	45.8	52.1	-	8.3	-	16.7
	35～39歳	49	2.0	4.1	2.0	51.0	53.1	-	6.1	-	10.2

		n	お金のこと	政治や社会のこと	性格のこと	健康のこと	体力や体型のこと	自分の将来のこと	特にない	その他
	%									
全体		208	54.8	19.7	11.1	23.6	24.0	35.1	5.3	1.9
年齢別	15～19歳	43	25.6	9.3	16.3	9.3	23.3	44.2	7.0	2.3
	20～24歳	32	46.9	18.8	21.9	18.8	12.5	40.6	12.5	-
	25～29歳	36	63.9	27.8	8.3	19.4	22.2	36.1	2.8	8.3
	30～34歳	48	64.6	31.3	10.4	33.3	29.2	35.4	4.2	-
	35～39歳	49	69.4	12.2	2.0	32.7	28.6	22.4	2.0	-

⑫ あなたは普段悩み事を誰に相談しますか。(複数回答)

普段悩み事を誰に相談するかについてみると、「父・母」が59.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が47.6%、「配偶者」が33.2%となっています。

年齢別にみると、15～19歳では「父・母」「友人・知人」、20～24歳、25～29歳では「父・母」、30～34歳、35～39歳では「配偶者」が最も高くなっています。



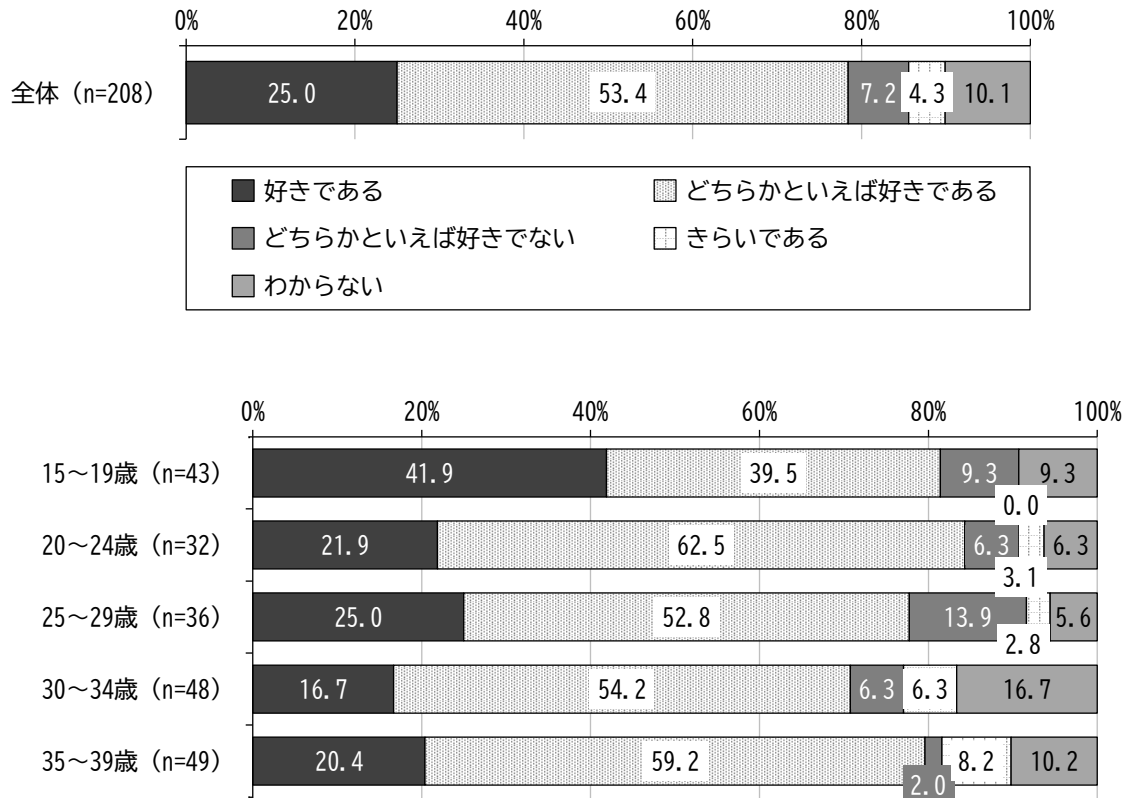
		n	父・母	兄弟・姉妹	友人・知人	恋人	配偶者	こども	祖父母	学校の先生	職場の同僚・上司
%											
全体		208	59.1	19.2	47.6	8.2	33.2	1.9	3.4	4.8	15.9
年齢別	15～19歳	43	67.4	30.2	67.4	11.6	-	-	4.7	23.3	2.3
	20～24歳	32	65.6	15.6	56.3	21.9	3.1	-	12.5	-	15.6
	25～29歳	36	58.3	16.7	38.9	8.3	27.8	-	-	-	16.7
	30～34歳	48	54.2	16.7	41.7	4.2	58.3	-	2.1	-	27.1
	35～39歳	49	53.1	16.3	36.7	-	61.2	8.2	-	-	16.3

		n	科カ 医ウ ンセ ラー・精 神	員町・役 場ス タツ フ等 の職	地 域 の 人	知 リ 合 い イ ン タ ー ネ ッ ト 上 の	質 問 サ イ ト イ ン タ ー ネ ッ ト 上 の	誰 に も 相 談 し な い	誰 に も 相 談 で き な い	そ の 他
%										
全体		208	2.4	0.5	0.5	4.8	0.5	11.5	3.8	1.4
年齢別	15～19歳	43	7.0	-	-	9.3	-	14.0	-	-
	20～24歳	32	3.1	-	-	3.1	-	9.4	-	3.1
	25～29歳	36	-	-	-	2.8	-	16.7	8.3	2.8
	30～34歳	48	2.1	2.1	2.1	-	-	6.3	6.3	2.1
	35～39歳	49	-	-	-	8.2	2.0	12.2	4.1	-

⑬ あなたは、柴田町が好きですか。(単数回答)

柴田町が好きかについてみると、「どちらかといえば好きである」が53.4%と最も高く、次いで「好きである」が25.0%、「わからない」が10.1%となっています。

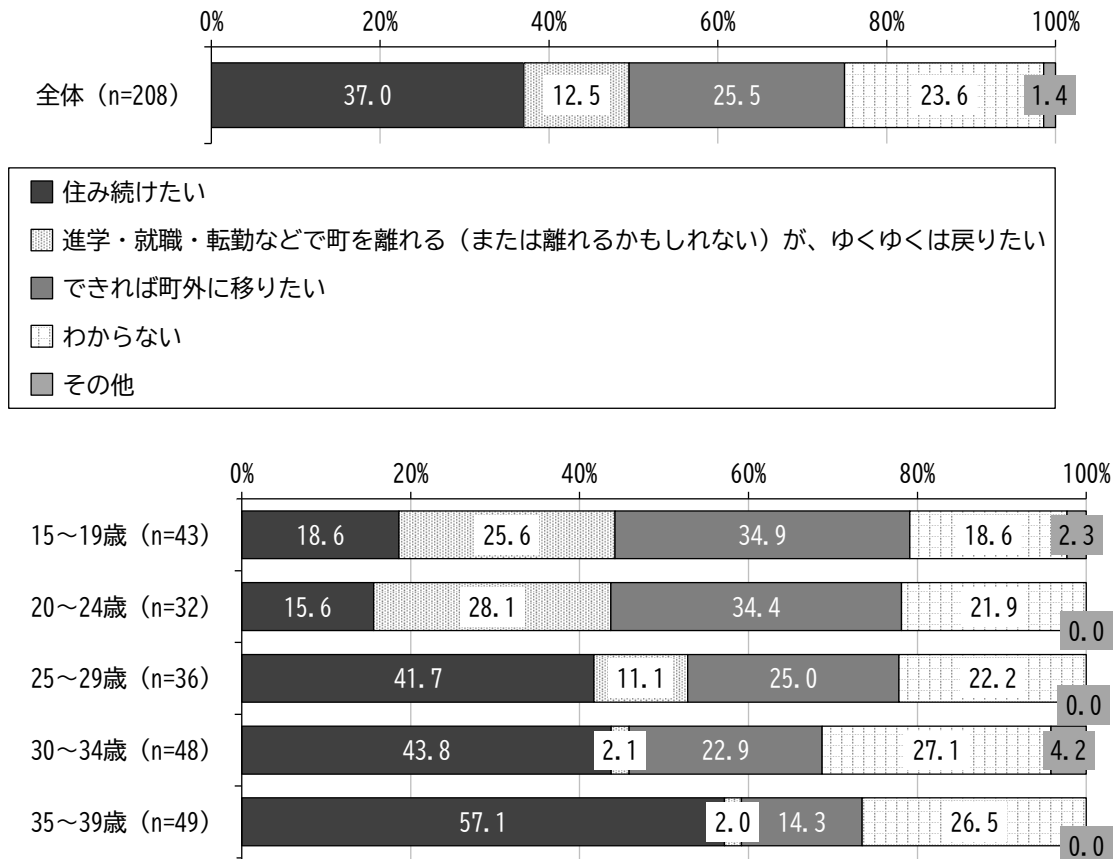
年齢別にみると、15～19歳では「好きである」、その他の年齢では「どちらかといえば好きである」が最も高くなっています。



⑭ あなたは今後、柴田町に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

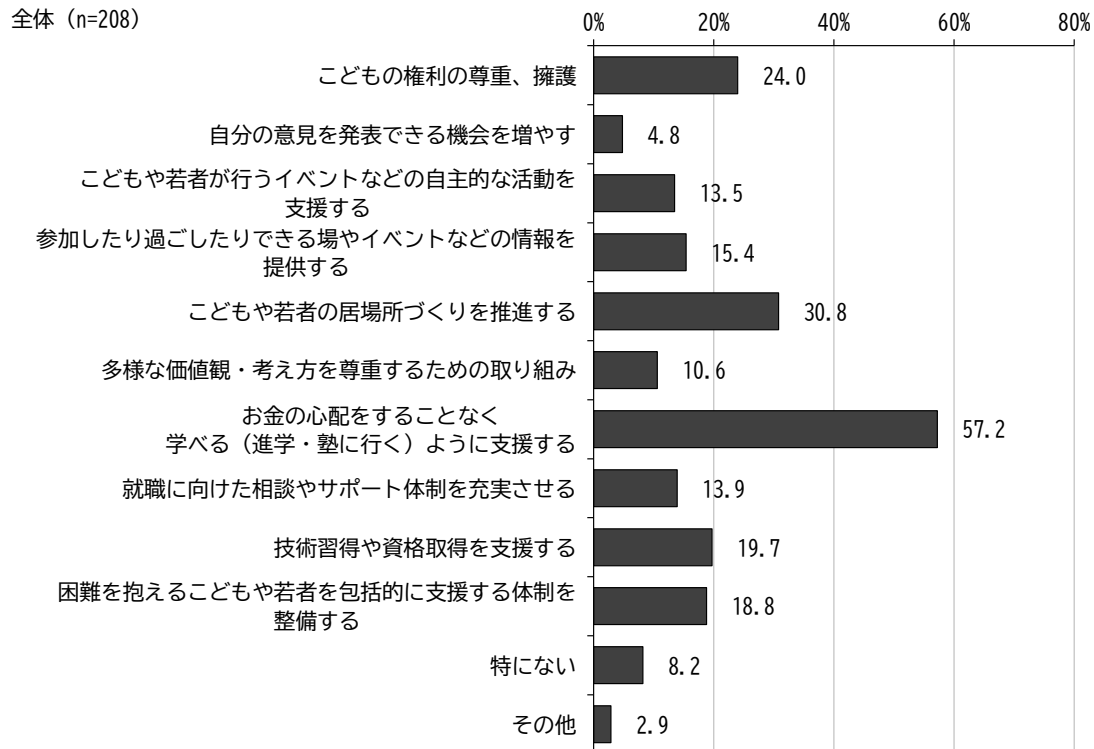
柴田町に住み続けたいかについてみると、「住み続けたい」が37.0%と最も高く、次いで「できれば町外に移りたい」が25.5%、「わからない」が23.6%となっています。

年齢別にみると、15～19歳、20～24歳では「できれば町外に移りたい」、その他の年齢では「住み続けたい」が最も高くなっています。



⑮ 今後、子ども・若者への支援として、町に最も力を入れてほしい取り組みは何だと思えますか。(複数回答)

子ども・若者への支援として、町に最も力を入れてほしい取り組みについてみると、「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が57.2%と最も高く、次いで「子どもや若者の居場所づくりを推進する」が30.8%、「子どもの権利の尊重、擁護」が24.0%となっています。



3. ヤングケアラー調査概要

(1) 調査の概要

本調査は、ヤングケアラーと思われるこどもを早期発見し、支援につなげ、こどもの健全な成長と自立を促すことを目的に実施しました。また、町の支援や施策検討の基礎資料とします。

項 目	内 容
調査対象者	柴田町立小学校に通学している4～6年生 柴田町立中学校に通学している1～3年生
調査期間	令和7年6月20日（金）から10月3日（金）
調査方法	WEB回答による本人回答方式
配布回収数	小学生：853人（回答数747件）（回答率87.6%） 中学生：814人（回答数700件）（回答率86.0%）

◇アンケート結果の見方

調査結果の数値については、小数点第2位以下で四捨五入しているため、内訳を合計しても100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

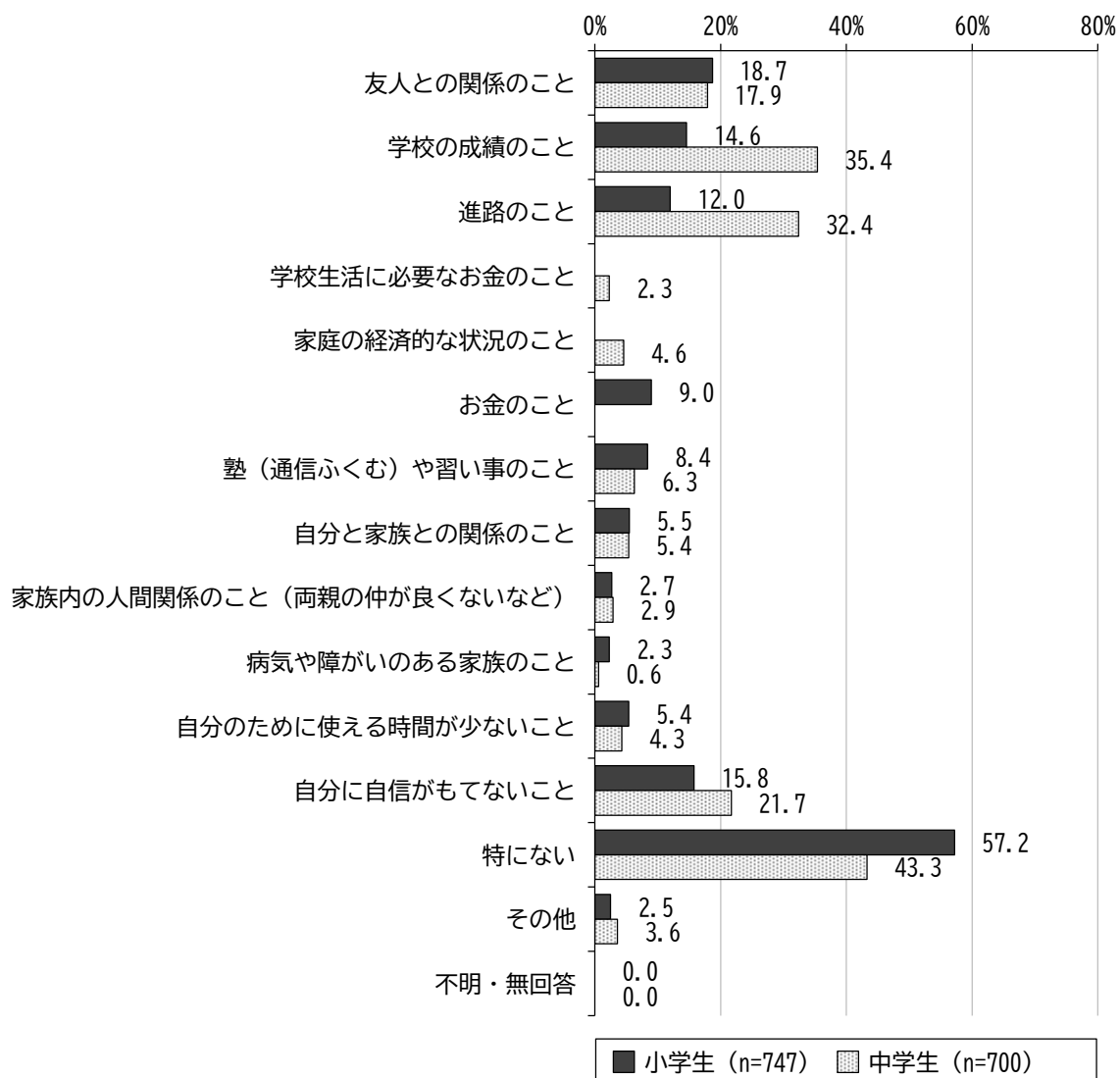
図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

(2) 調査結果の抜粋

① 現在の悩みや困りごと（複数回答）[小学生問9、中学生問11]

現在の悩みや困りごとについてみると、小学生では、「とくにない」が57.2%と最も高く、次いで「友だちとの関係のこと」が18.7%、「自分に自信がもてない」が15.8%となっています。

中学生では、「特にない」が43.3%と最も高く、次いで「学校の成績のこと」が35.4%、「進路のこと」が32.4%となっています。



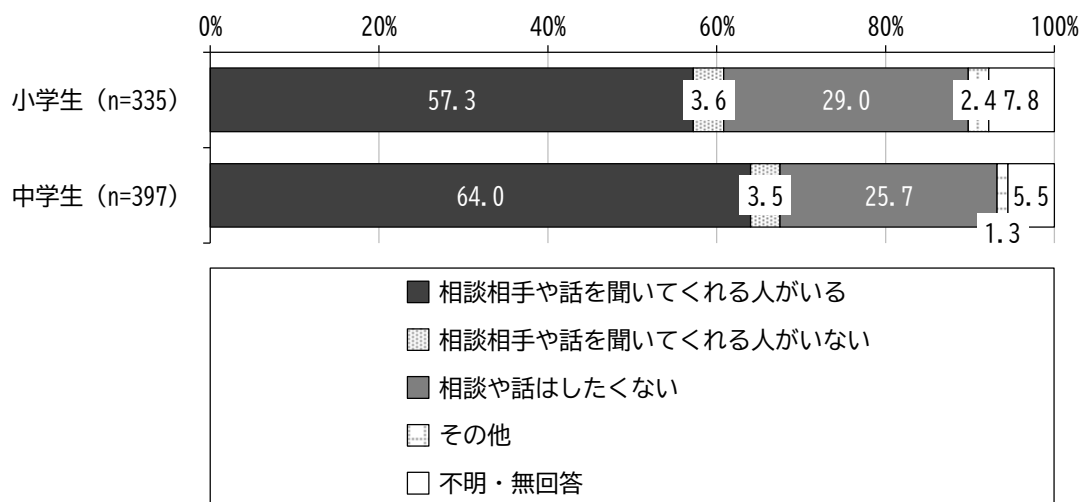
小学生：【問9現在の悩みや困りごと】で「友だちとの関係のこと」～「自分に自信がもてない」、もしくは「その他」のいずれかを選んだ方

中学生：【問11現在の悩みや困りごと】で「友人との関係のこと」～「自分に自信がもてないこと」、もしくは「その他」のいずれかを選んだ方

①-1 悩みや困りごとを相談する相手の有無（単数回答）〔小学生問10、中学生問12〕

悩みや困りごとを相談する相手の有無についてみると、小学生では、「相談する人や話を聞ってくれる人がいる」が57.3%と最も多く、次いで「相談や話はしたくない」が29.0%、「相談する人や話を聞いてくれる人がいない」が3.6%となっています。

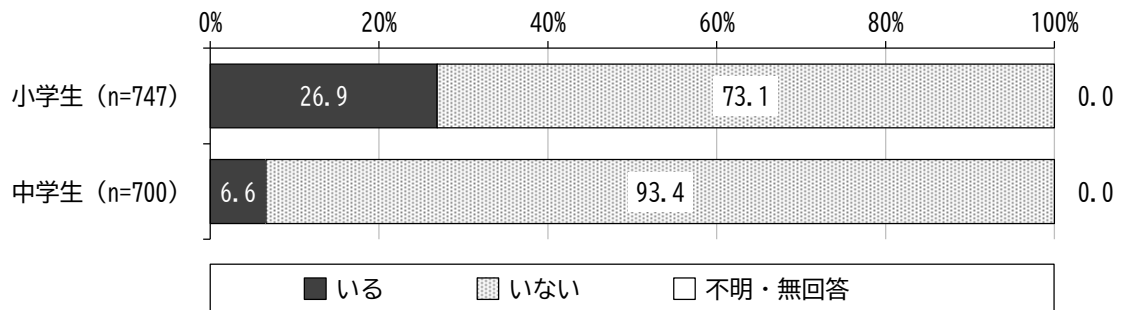
中学生では、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が64.0%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」が25.7%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が3.5%となっています。



② お世話をしている人の有無（単数回答）[小学生問 11、中学生問 14]

お世話をしている人の有無についてみると、小学生では、「いない」が73.1%、「いる」が26.9%となっています。

中学生では、「いない」が93.4%、「いる」が6.6%となっています。



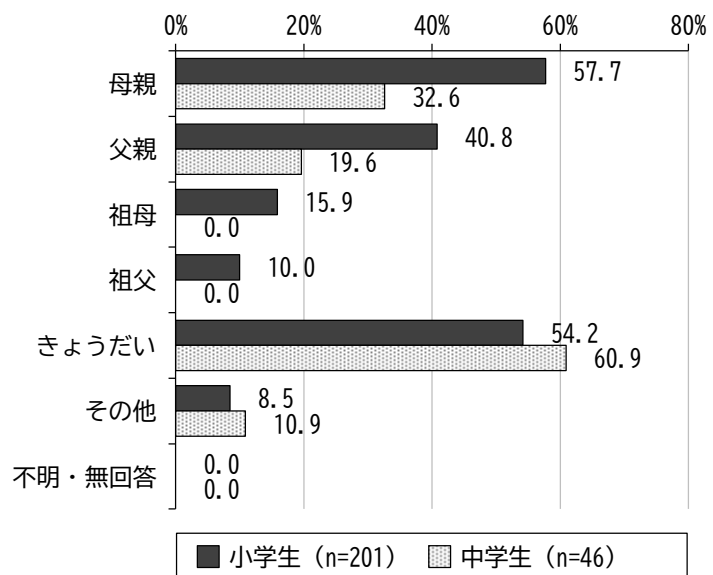
小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

中学生：【問 14 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

②-1 お世話をしている相手（複数回答）[小学生問 12、中学生問 15]

お世話をしている相手についてみると、小学生では、「お母さん」が57.7%と最も高く、次いで「きょうだい」が54.2%、「お父さん」が40.8%となっています。

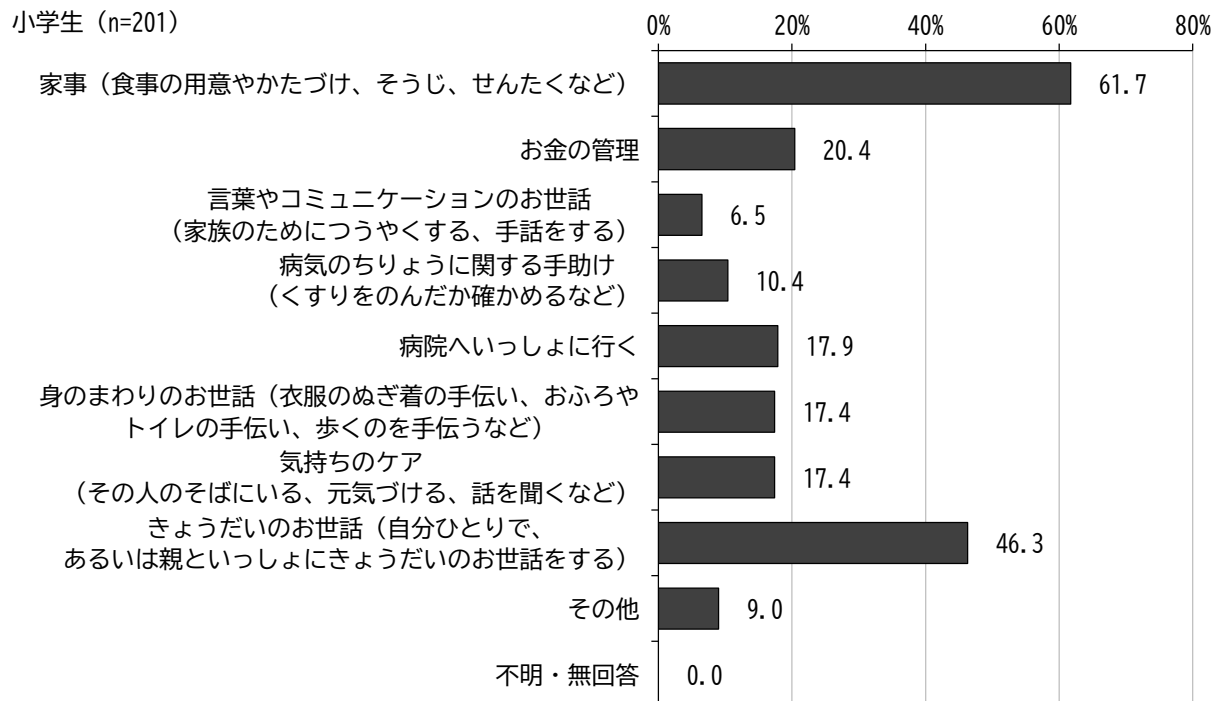
中学生では、「きょうだい」が60.9%と最も高く、次いで「母親」が32.6%、「父親」が19.6%となっています。



小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

②-2 お世話の内容（複数回答）[小学生問 13]

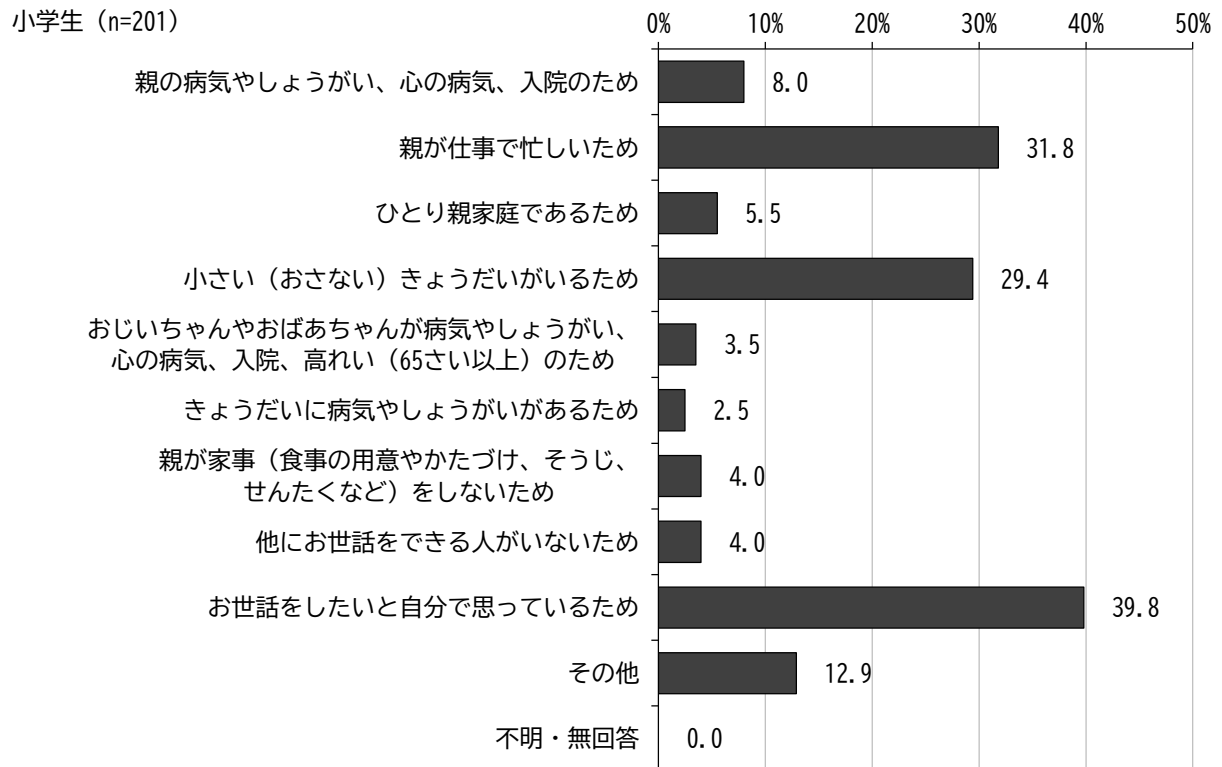
お世話の内容についてみると、「家事（食事の用意やかたづけ、そうじ、せんたくなど）」が 61.7%と最も高く、次いで「きょうだいのお世話（自分ひとりで、あるいは親といっしょにきょうだいのお世話をする）」が 46.3%、「お金の管理」が 20.4%となっています。



小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

②-3 お世話をしている理由（複数回答）[小学生問 14]

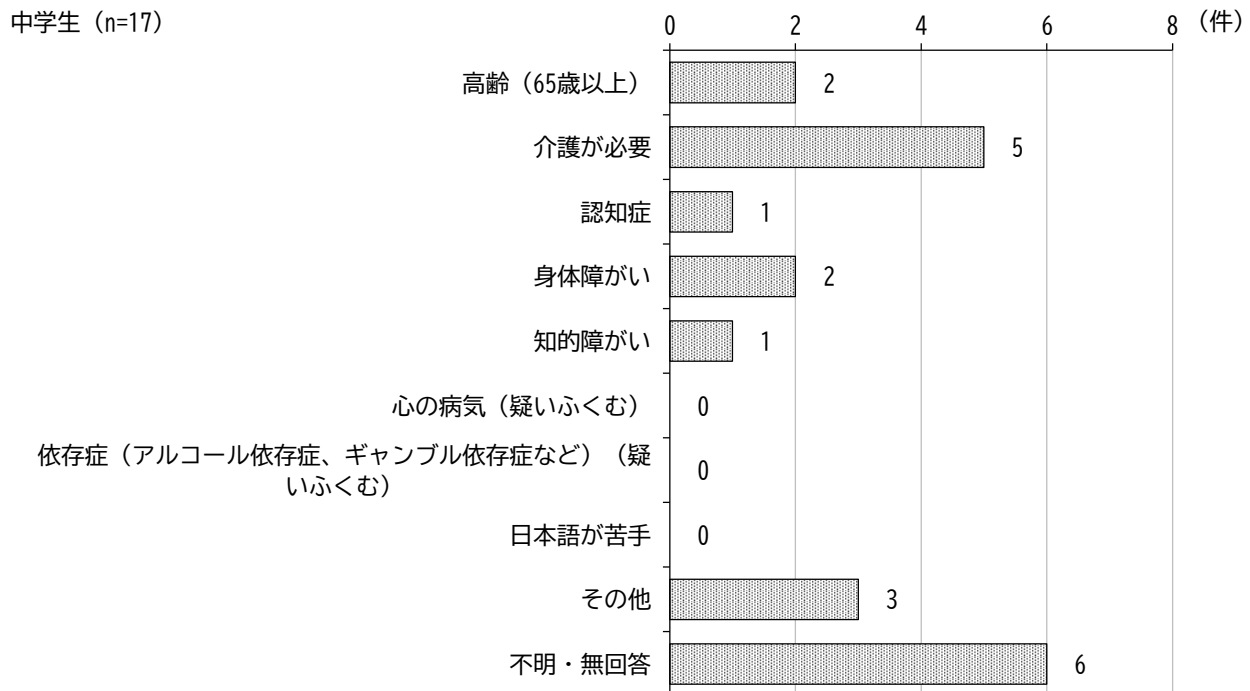
お世話をしている理由についてみると、「お世話をしたいと自分で思っているため」が39.8%と最も高く、次いで「親が仕事で忙しいため」が31.8%、「小さい（おさない）きょうだいがいるため」が29.4%となっています。



中学生：【問 15 お世話をしている相手】で「母親」または「父親」を選んだ方

②-4 お世話をしている人の状況（複数回答）[中学生問 16]

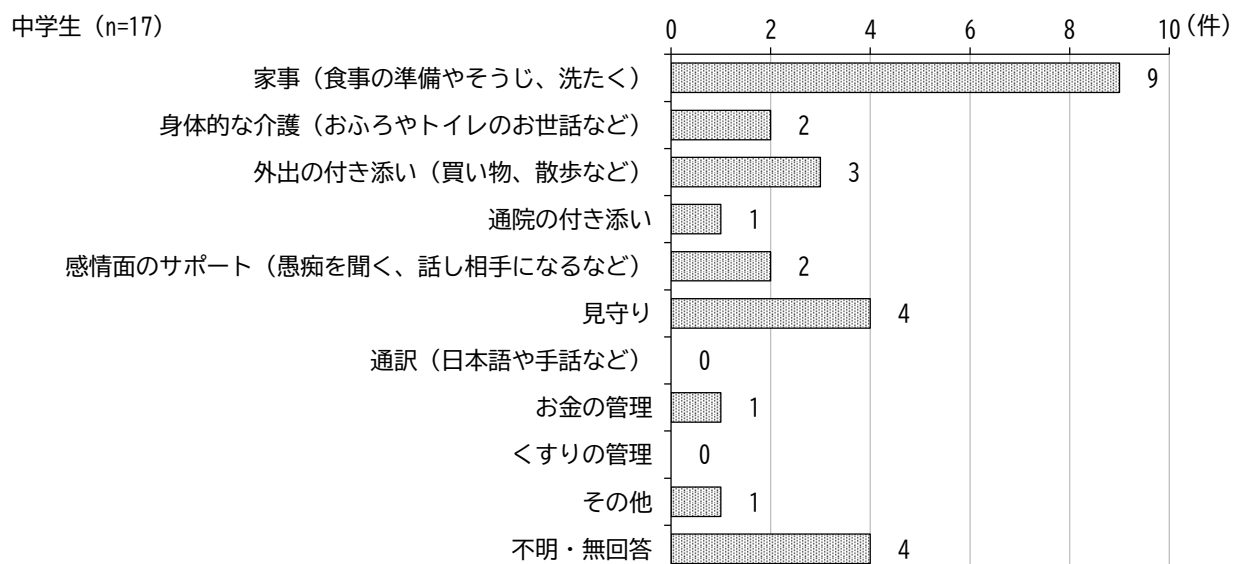
お世話をしている人の状況についてみると、「介護が必要」が5件と最も高く、次いで「高齢（65歳以上）」「身体障がい」が2件となっています。



中学生：【問 15 お世話をしている相手】で「母親」または「父親」を選んだ方

②-5 お世話の内容（複数回答）[中学生問 16-1]

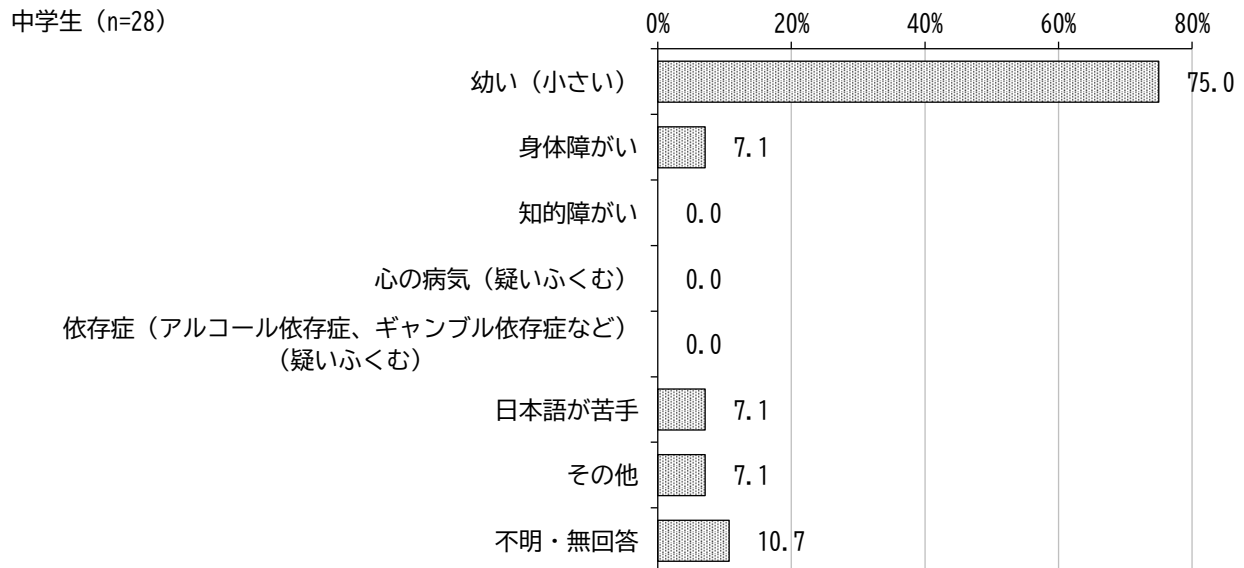
お世話の内容についてみると、「家事（食事の準備やそうじ、洗たく）」が9件と最も高く、次いで「見守り」が4件、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」が3件となっています。



中学生：【問 15 お世話をしている相手】で「きょうだい」を選んだ方

②-6 お世話をしている人の状況（複数回答）[中学生問 18]

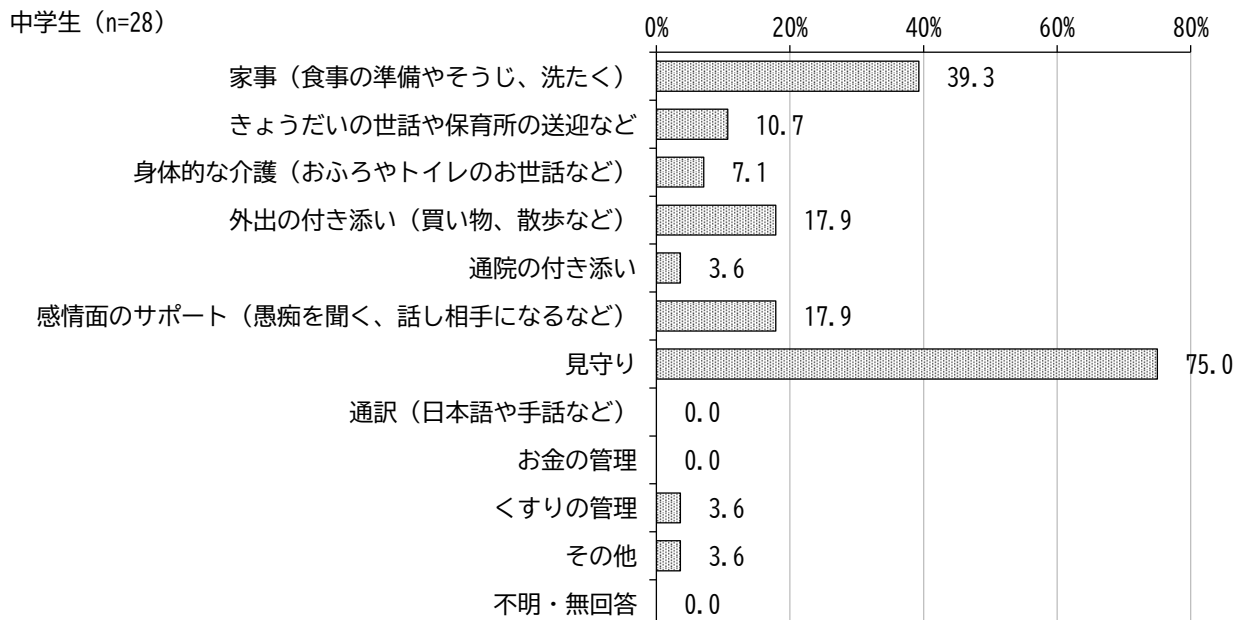
お世話をしている人の状況についてみると、「若い（小さい）」が75.0%と最も高く、次いで「身体障がい」「日本語が苦手」が7.1%となっています。



中学生：【問 15 お世話をしている相手】で「きょうだい」を選んだ方

②-7 お世話の内容（複数回答）[中学生問 18-1]

お世話の内容についてみると、「見守り」が75.0%と最も高く、次いで「家事（食事の準備やそうじ、洗たく）」が39.3%、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」が17.9%となっています。



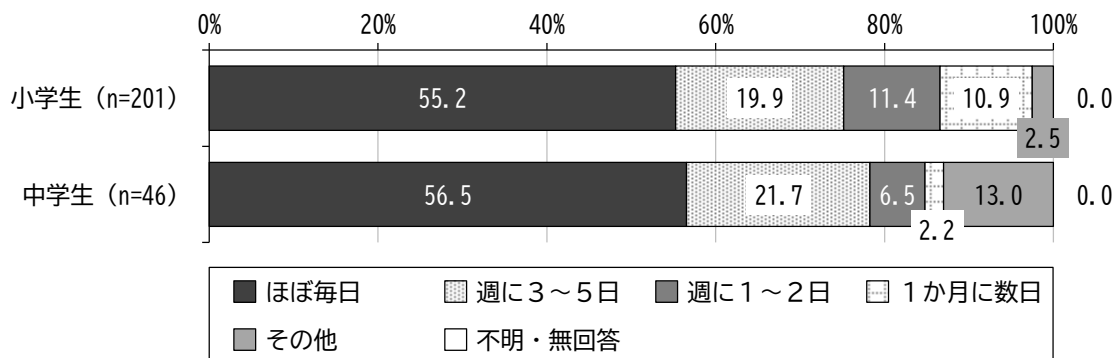
小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

中学生：【問 14 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

③ お世話をする頻度（単数回答）〔小学生問 16、中学生問 21〕

お世話をする頻度についてみると、小学生では「ほぼ毎日」が 55.2%と最も高く、次いで「週に 3～5 日」が 19.9%、「週に 1～2 日」が 11.4%となっています。

中学生では、「ほぼ毎日」が 56.5%と最も高く、次いで「週に 3～5 日」が 21.7%、「週に 1～2 日」が 6.5%となっています。

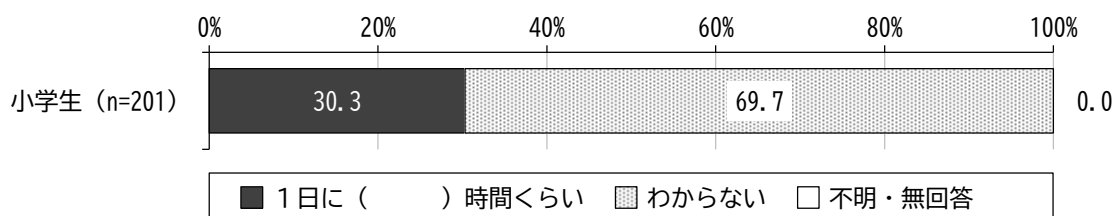


小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

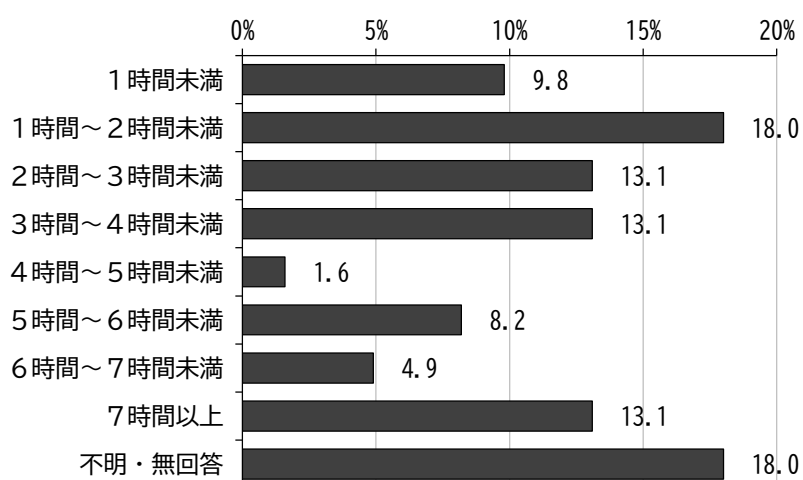
④ 学校に登校する日のお世話をする時間（単数回答）〔小学生問 17〕

学校に登校する日のお世話をする時間についてみると、「わからない」が 69.7%となっています。

「わからない」と回答した方を除くと、「1 時間～2 時間未満」が 18.0%と最も高く、次いで「2 時間～3 時間未満」「3 時間～4 時間未満」「7 時間以上」が 13.1%、となっています。



小学生 (n=61)

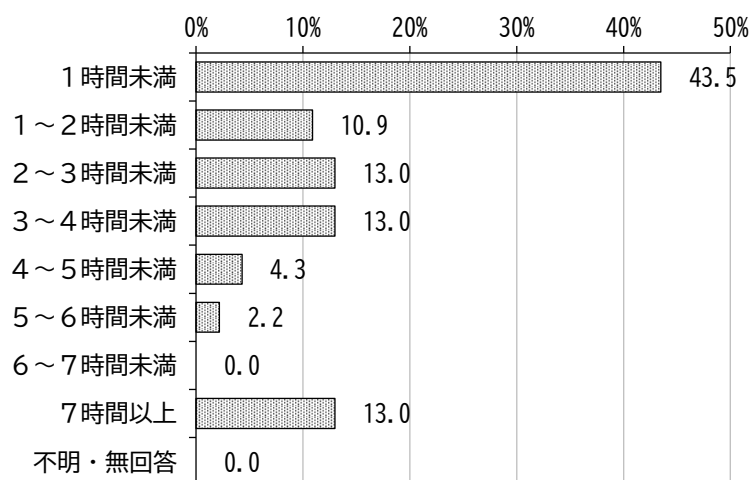


中学生：【問 14 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

④-1 学校に登校する日のお世話をする時間（単数回答）[中学生問 22]

学校に登校する日のお世話をする時間についてみると、「1時間未満」が43.5%と最も高く、次いで「2～3時間未満」「3～4時間未満」「7時間以上」が13.0%となっています。

中学生（n=46）

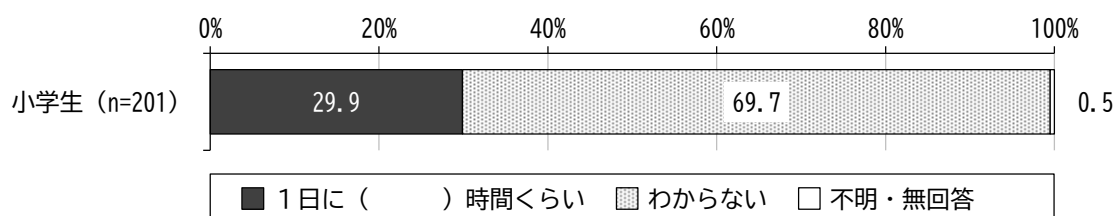


小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

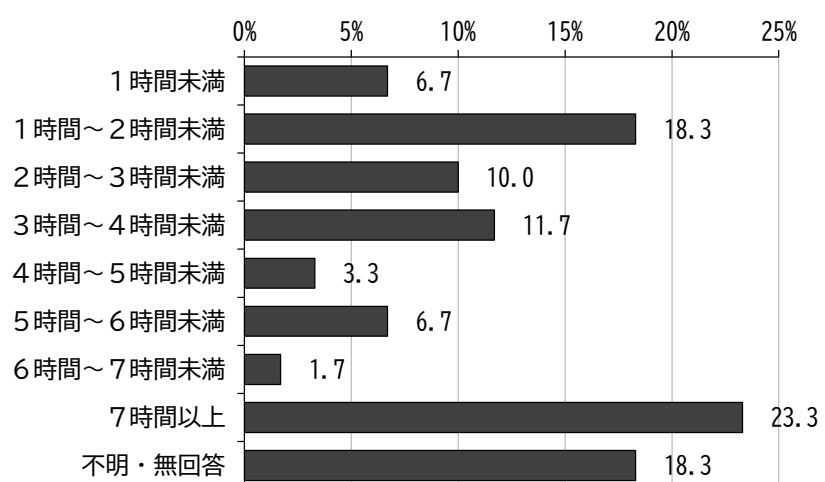
⑤ 学校が休みの日のお世話をする時間（単数回答）[小学生問 18]

学校が休みの日のお世話をする時間についてみると、「わからない」が69.7%となっています。

「わからない」と回答した方を除くと、「7時間以上」が23.3%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が18.3%、「3時間～4時間未満」が11.7%となっています。



小学生（n=60）

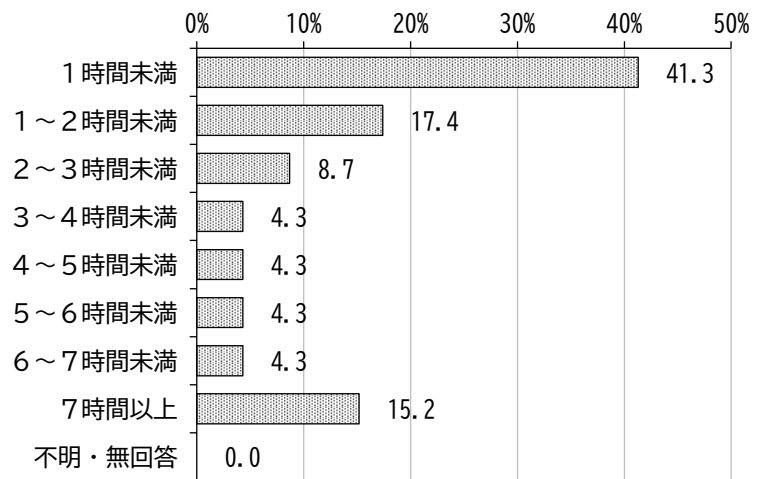


中学生：【問 14 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

⑥ 学校が休みの日のお世話をする時間（単数回答）[中学生問 23]

学校が休みの日のお世話をする時間についてみると、「1時間未満」が41.3%と最も高く、次いで「1～2時間未満」が17.4%、「7時間以上」が15.2%となっています。

中学生（n=46）



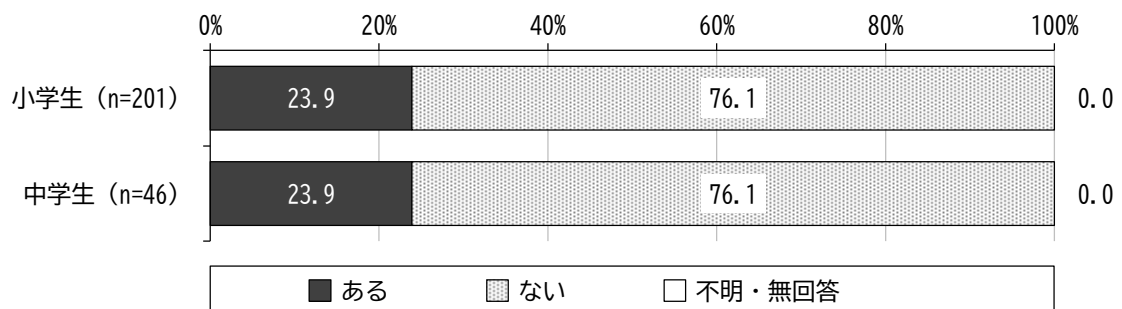
小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

中学生：【問 14 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

⑦ お世話に関する相談経験の有無（単数回答）[小学生問 21、中学生問 26]

お世話に関する相談経験の有無についてみると、小学生では、「ない」が76.1%、「ある」が23.9%となっています。

中学生では、「ない」が76.1%、「ある」が23.9%となっています。



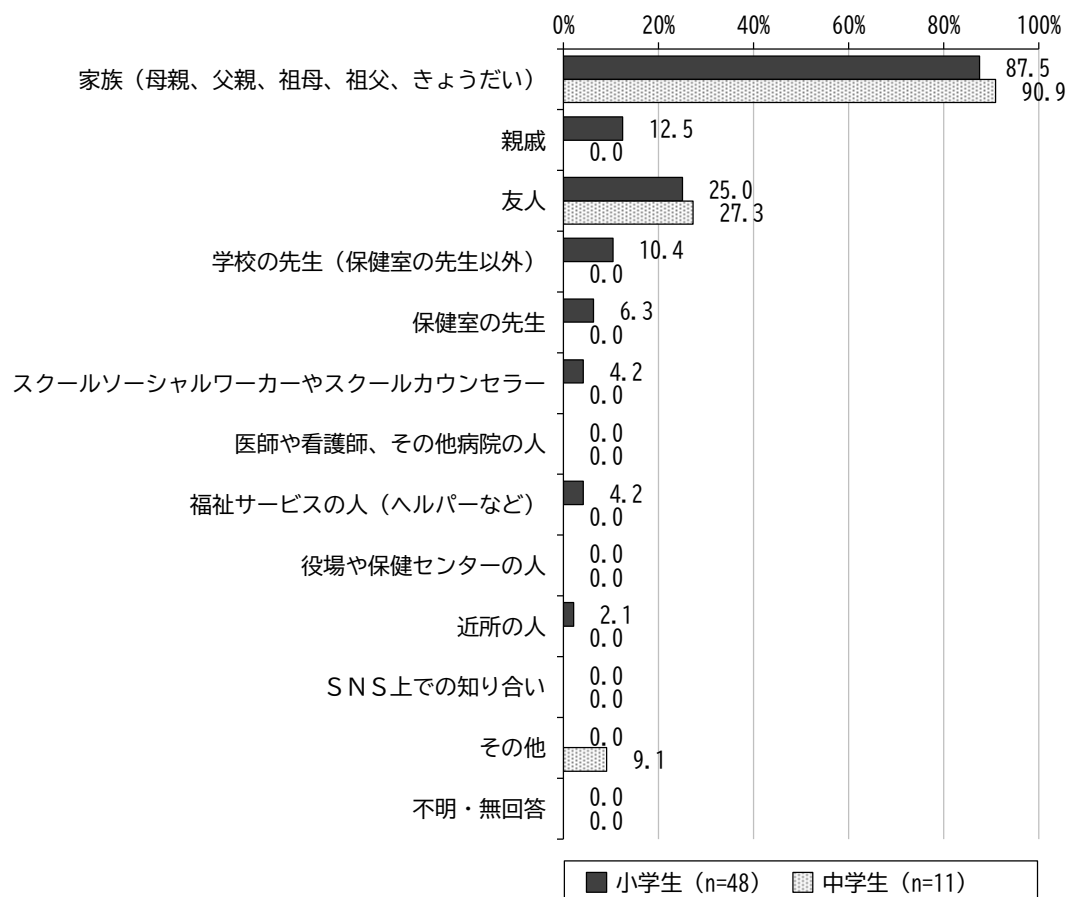
小学生：【問 21 お世話に関する相談経験の有無】で「ある」を選んだ方

中学生：【問 26 お世話に関する相談経験の有無】で「ある」を選んだ方

⑧ お世話に関する相談の相手（複数回答）[小学生問 22、中学生問 27]

お世話に関する相談の相手についてみると、小学生では、「家族（お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、きょうだい）」が87.5%と最も高く、次いで「友だち」が25.0%、「しんせき（おじ、おばなど）」が12.5%となっています。

中学生では、「家族（母親、父親、祖母、祖父、きょうだい）」が90.9%と最も高く、次いで「友人」が27.3%となっています。



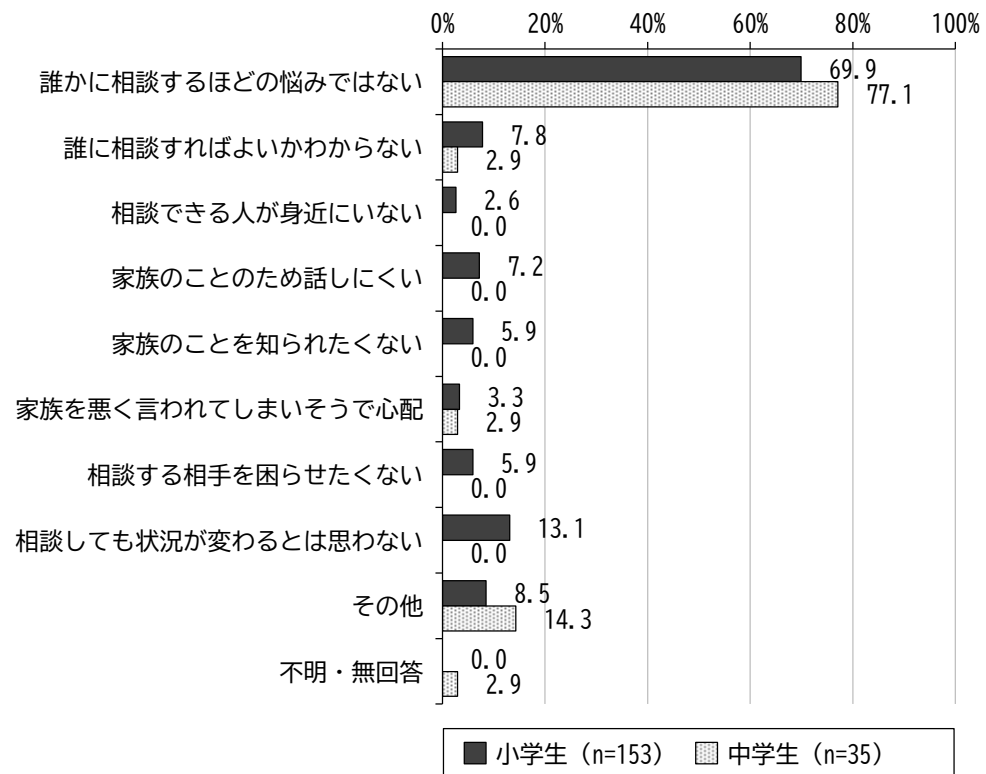
小学生：【問 21 お世話に関する相談経験の有無】で「ない」を選んだ方

中学生：【問 26 お世話に関する相談経験の有無】で「ない」を選んだ方

⑨ お世話に関する相談をしていない理由（複数回答）〔小学生問 23、中学生問 28〕

お世話に関する相談をしていない理由についてみると、小学生では、「だれかに相談するほどのなやみではない」が69.9%と最も高く、次いで「相談しても状況が変わると思わない」が13.1%、「だれに相談すればよいかわからない」が7.8%となっています。

中学生では、「誰かに相談するほどの悩みではない」が77.1%と最も高く、次いで「誰に相談すればよいかわからない」「家族を悪く言われてしまいそうで心配」が2.9%となっています。



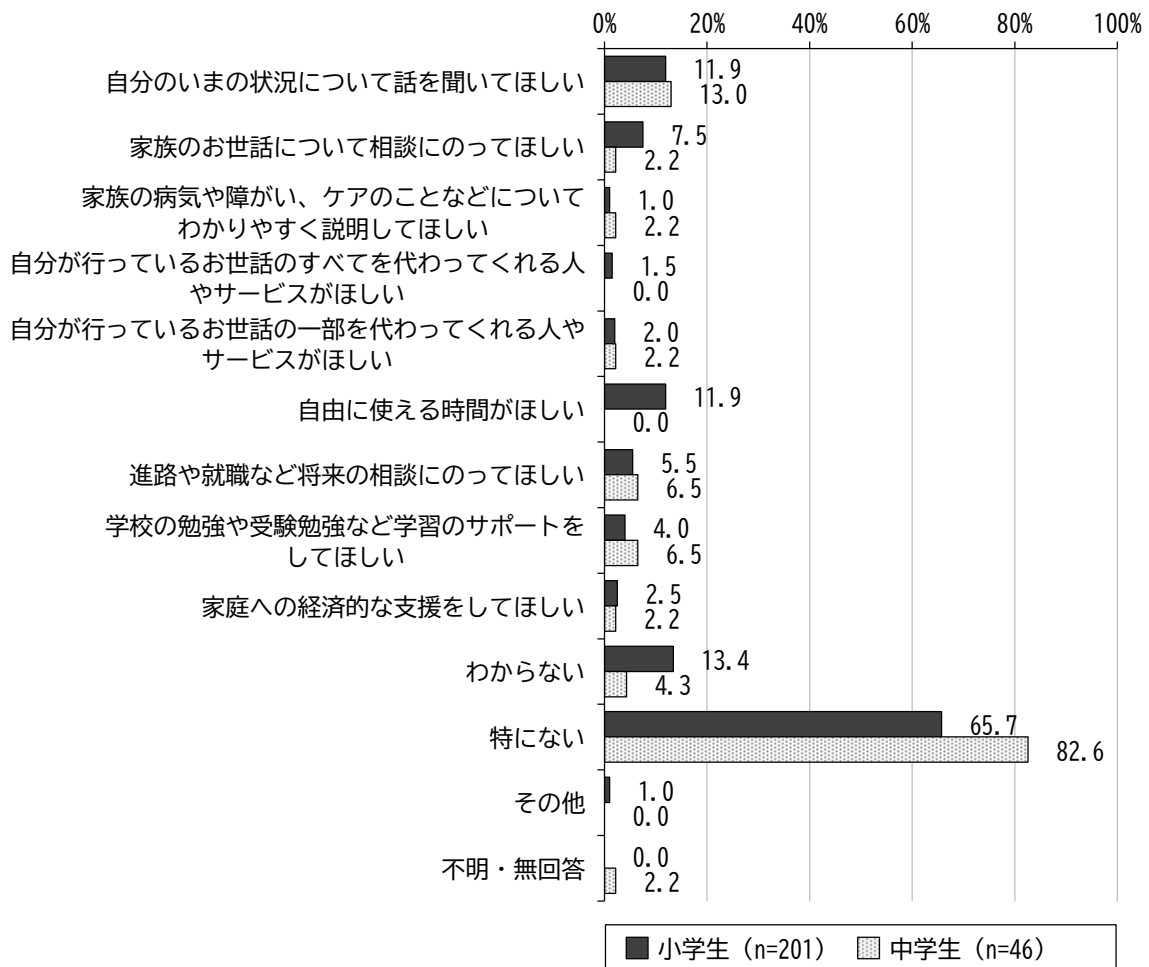
小学生：【問 11 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

中学生：【問 14 お世話をしている人の有無】で「いる」を選んだ方

⑩ 学校やまわりの大人に求めることや必要なサポート（複数回答）[小学生問 24、中学生問 29]

学校やまわりの大人に求めることや必要なサポートについてみると、小学生では、「とくにない」が 65.7%と最も高く、次いで「わからない」が 13.4%、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「自由に使える時間がほしい」が 11.9%となっています。

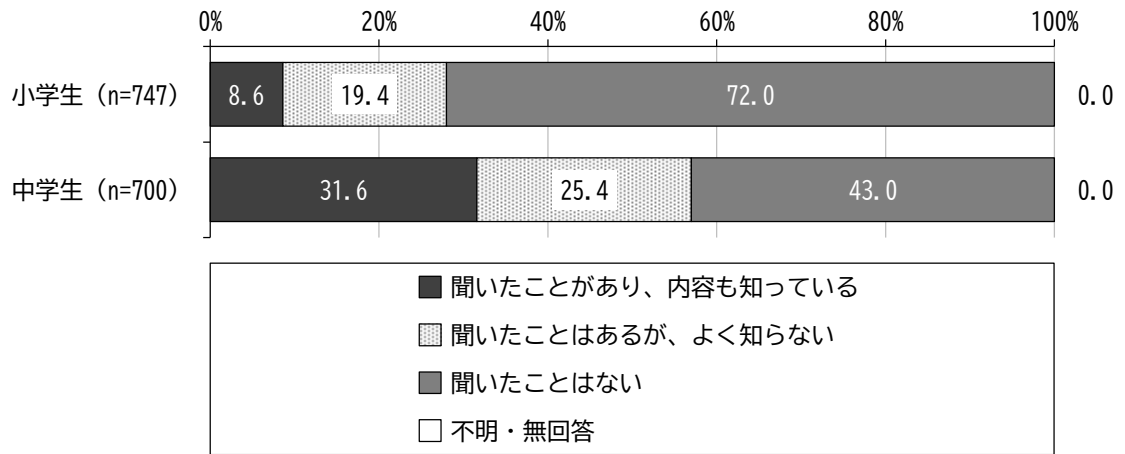
中学生では、「特にない」が 82.6%と最も高く、次いで「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」が 13.0%、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」が 6.5%となっています。



⑪ ヤングケアラーの認知度（単数回答）[小学生問 25、中学生問 30]

ヤングケアラーの認知度についてみると、小学生では、「聞いたことはない」が72.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が19.4%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が8.6%となっています。

中学生では、「聞いたことはない」が43.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が31.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が25.4%となっています。



⑫ 回答者自身がヤングケアラーにあてはまると思うか（単数回答）[小学生問 27、中学生問 32]

回答者自身がヤングケアラーにあてはまると思うかについてみると、小学生では、「わからない」が56.8%と最も高く、次いで「あてはまらない」が40.8%、「あてはまる」が2.4%となっています。

中学生では、「あてはまらない」が58.3%と最も高く、次いで「わからない」が40.7%、「あてはまる」が0.7%となっています。

